KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

R-K700

取扱説明書

お買い上げいただきましして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず「安全上のご注意」をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5505-00 00 (CS) (J) FE 0408

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

⚠ 警告

交流100ボルトの電圧で使用する

この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

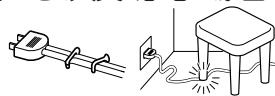
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

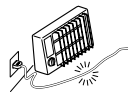
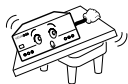
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⚠注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

はじめに

取扱説明書の使用方法

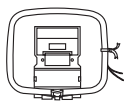
本書は、準備編、基本編、応用編、知識編の４つの章に分かれています。
まずはじめに安全上のご注意をよくお読みください。

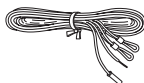
準備編

お手持ちのオーディオ機器との接続のしかたや各部の名称について説明しています。お手持ちのオーディオ機器によっては接続が複雑になることがあります。取扱説明書をよくお読みのうえ、それぞれの機器に接続してください。

基本編

曲の再生など、基本的な機能の操作方法を説明しています。

応用編

曲の編集など、応用的な機能（便利な機能）の操作方法を説明しています。

知識編

「故障かな？と思ったら」、「定格」など、知っておくと便利な情報を記載してあります。

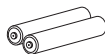
ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

付属品

AM ループアンテナ（1 個）

FM 室内アンテナ（1 本）

ルームイコライザー用マイク（コード長約 5m : 1 個）

リモコン（1 個）

リモコン用単 4 乾電池（2 本）

注意

ここを開けると不可視レーザーが放射する
レーザー放射を直接見たりふれたりしないこと

この製品には、「クラス 3B」に分類されるレーザーダイオードが使用されております。
レーザー放射を直接見たり、ふれたりしないで下さい。
貼付位置：本製品内部のMDレーザーピックアップユニットのカバー

本機の特長

ルームイコライザー機能

本機には、部屋のレイアウトや設置場所に応じて最適な音響空間を自動で構築することができる「ルームイコライザー」機能を搭載しています。従来は、最適な音響空間は試聴しながらスピーカーや家具などの位置を移動して環境を整えなければならず、時間と手間、専門的な知識が必要とされました。この機能により、実際に物を動かさずに簡単に短時間でお部屋に応じた最適な音響空間を設定することができます。

デジタルサウンドイコライザー機能

本機にはDSPでデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
これまでの単なる音質調整と比べ、楽しみながら、より自分の好みの音に調整することができます。
作り出した音をMDに録音することもできます。（通常録音、4倍速録音）

CD-R／CD-RW再生対応

音楽CDの再生はもちろん、CD-R(Compact Disc Recordable)(追記型)、CD-RW(Compact Disc Rewritable)(書き換え型）に録音された曲の再生ができます。
*ファイナライズされたディスクのみ再生可能です。ただし、ディスクによっては再生できない場合があります。

MDロングプレイモード対応

ATRAC 3（MDLP）による長時間録音、再生機能（LP2、LP4）を搭載。標準の2倍(約160分*）または4倍（約320分*）のデジタル長時間録音、再生ができます。（* 80分ディスクを使用した場合）

CD → MD High Speed ダビング対応　（4倍速）

CDからMDへカンタン、4倍速でダビングできる便利な機能です。（全曲、1曲）

グループ機能

多数の曲を何曲かずつのグループに分けて管理できる便利なMDグループ機能を搭載しています。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

- **ワンタッチ録音：**　キーを押すだけで、CD 1枚または1曲をカンタンに録音できます。
- **プログラム録音：**　好きな曲を好きな曲順で録音できます。

便利なタイマー機能

- **タイマー再生、タイマー録音機能：**
  タイマー再生（AIタイマー再生）とタイマー録音を2系統（**PROG. 1**, **PROG. 2**）設定ができます。
  （AIタイマーは、タイマー再生開始後、設定したレベルまで徐々に音量が上がります。）
- **スリープタイマー機能：**
  設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聞きながらお休みになりたいときに便利です。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

接続のしかた

システムと付属品の接続

本機と付属品の接続方法です。

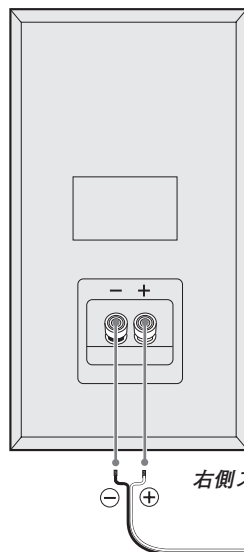
注意　*接続のご注意*

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

注意

スピーカーの磁気でテレビやパソコンのモニターの色が乱れることがあります。スピーカーはテレビやモニターの近くには置かないでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、" 故障かな ? と思ったら ..." を参照してマイコンをリセットしてください。→89

注意

機器を設置する際には、機器に十分な放熱をさせるために下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるようなものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　　背面：10cm以上

注意

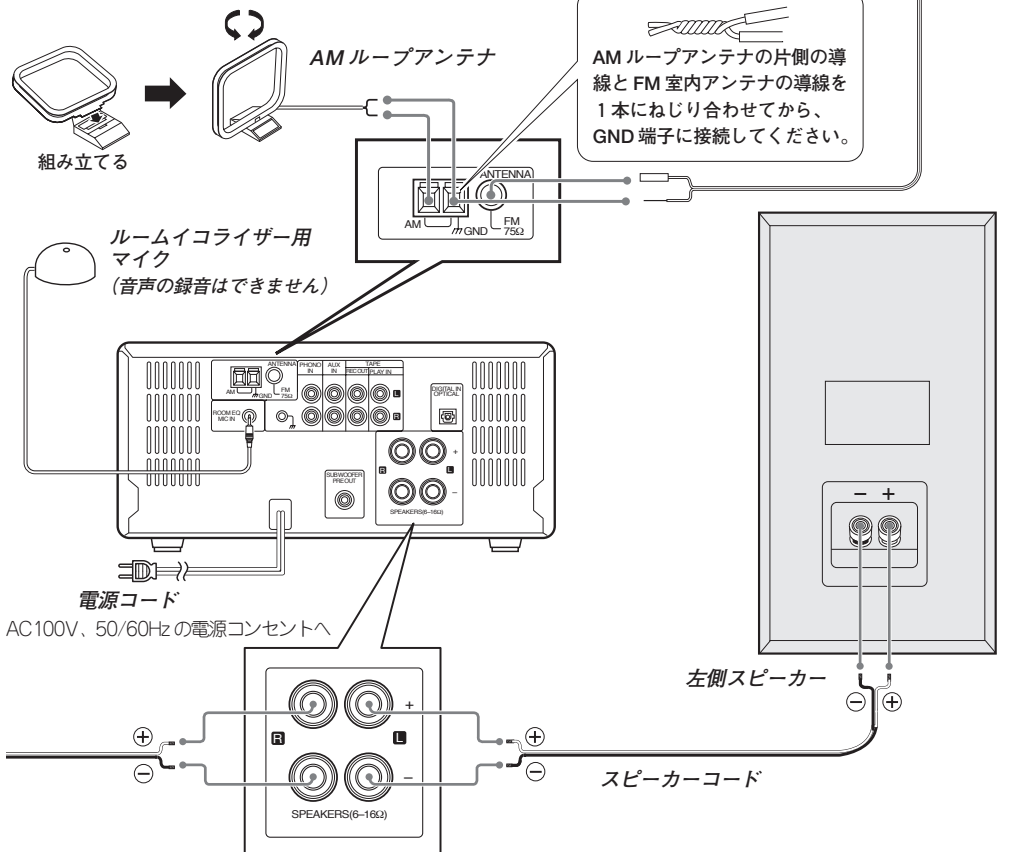
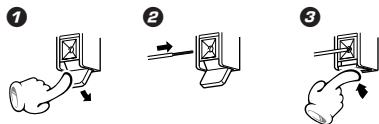
機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

スピーカーの接続

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。故障の原因になります。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

アンテナを接続しないと AM、FM 放送を受信できません。下記にしたがって正しく接続してください。

AM ループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

AM アンテナコードの取り付けかた

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

FM 室内アンテナ

AM ループアンテナ

組み立てる

AM ループアンテナの片側の導線と FM 室内アンテナの導線を 1 本にねじり合わせてから、GND 端子に接続してください。

ANTENNA
AM
GND
FM 75Ω

ルームイコライザー用マイク
（音声の録音はできません）

電源コード
AC100V、50/60Hz の電源コンセントへ

SPEAKERS(6–16Ω)

左側スピーカー

スピーカーコード

スピーカーコードの取り付けかた

他の機器（市販品）との接続

注意　接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

注意　屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

- MCカートリッジ付きのレコードプレーヤーを本機に直接つなぐことはできません。専用のイコライザーアンプをつないでから接続してください。
- イコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤーはAUX IN端子に接続してご使用ください。

FM 屋外アンテナ

ANTENNA
AM
GND
FM 75Ω

アンテナアダプター
（市販品）

信号用アース線

音声出力

レコードプレーヤー
（MMカートリッジ付き）

音声出力

ビデオデッキなど

電源コード
AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ

SUB WOOFER PRE OUT

サブウーファー
SW-V7（別売）など

光デジタル出力
（PCM信号）

デジタル機器

音声出力

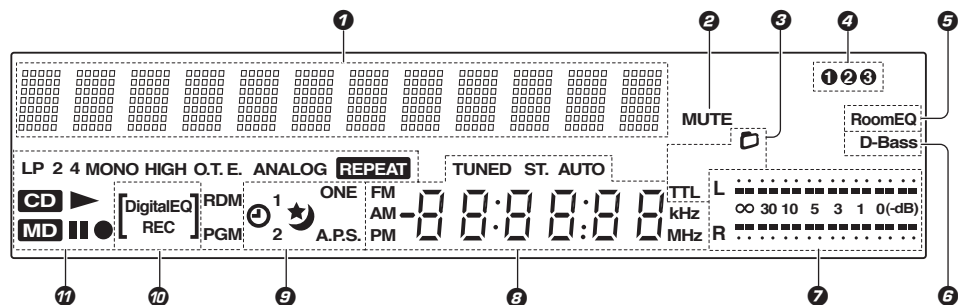
音声入力

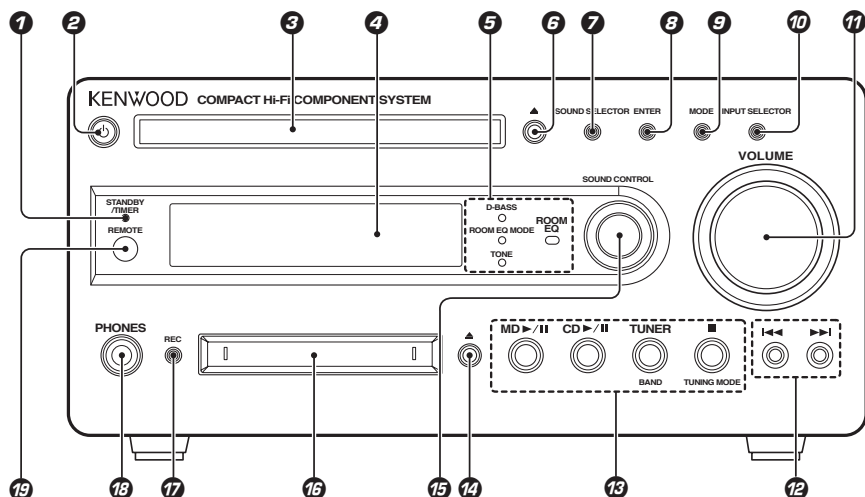
カセットデッキ

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。
- アース端子（⏚マークの端子）はアナログレコードプレーヤーを設置した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

各部のなまえと働き

表示部

本文中のディスプレイ表示は概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。

❶ 数字および文字情報表示		❻ D-Bass(バス)表示	→ 23
❷ MUTE(ミュート)表示	→ 20	❼ レベルメーター	→ 85
❸、⓫ CD、MD関連表示		❽ 時計、時間、周波数表示	
❹ SOUND(サウンド) PRESET(プリセット)メモリー表示	→ 25	❾ タイマー関連表示	→ 79
❺ Room(ルーム) EQ表示	→ 21	❿ デジタルサウンドイコライザー録音表示	→ 41

本体部

❶ **STANDBY/TIMER 表示**

赤色の点灯：通常のスタンバイ状態
緑色の点灯：タイマースタンバイ状態
消灯　：電源オンの状態
点滅の場合は"***故障かな？と思ったら...***"をご覧ください。 →89

❷ **⏻ (POWER)キー** →19

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❸ **CD トレイ**

❹ **ディスプレイ**

❺ **サウンドインジケーター**

D-BASS インジケーター →23

D-BASS 設定中は点滅、設定されたときは点灯します。

ROOM EQ MODE インジケーター →22

ROOM EQ モード設定中は点滅、設定が完了したら点灯します。

TONE インジケーター →24

TONE 設定中は点滅、設定されたときは点灯します。

ROOM EQ インジケーター →21

ROOM EQ 設定中は点滅、設定が完了したら点灯します。

❻ **▲（CD トレイ開閉）キー** →26

CD トレイを開閉します。

❼ **SOUND SELECTOR キー**

サウンド設定モードの切り換えに使います。

- キーを押すと以下のように切り換わります。

"D-BASS" →23
"ROOM EQ MODE" →22
"BASS" →23
"TREBLE" →24
サウンド設定モード OFF

❽ **ENTER キー**

MODE 操作中のとき：選択項目の確定に使います。
MD 入力のとき：MD 編集中の確定などに使います。
放送受信のとき：プリセットメモリー確定などに使います。

❾ MODE キー

⏮ または ⏭ キーの機能をメニュー選択モードへ切り換えます。もう一度押すと、⏮ または ⏭ キーの機能が通常モードへ戻ります。

機能メニューは以下のとおりです。

O.T.E. START	→ 40 → 50 → 51
REC MODE	→ 42 → 76
O.T.E. SPEED	→ 49
REC INPUT	→ 41 → 77
REC LEVEL	→ 43
TEXT COPY	→ 42
GROUP MAKE	→ 43 → 76
GROUP SEARCH	→ 73
AUTO MARK	→ 43
INPUT LEVEL	→ 37
BALANCE	→ 20
ケンメイセッテイ	→ 33
DIMMER SET	→ 84
LEVEL METER	→ 85
A.P.S. SET	→ 85
TIME ADJUST	→ 18
TIMER SET	→ 80
SOUND PRESET	→ 25
ROOM EQ	→ 21

- 選ばれているソースによって表示されないメニューがあります。

❿ INPUT SELETOR キー → 19

入力ソース(PHONO、TAPE、AUX、DIGITAL IN)を選択します。

⓫ VOLUME つまみ → 20

右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

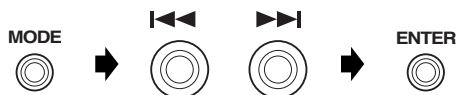
⓬ ⏮/⏭（マルチコントロール）キー

通常は以下のときに使います。

– CDやMDの曲の飛び越し → 27 → 30

– プリセット放送局を選ぶ → 32

MODEキーを押してメニューモードにし、好みの項目を選ぶときに使います。**ENTERキー**を使って確定します。

MODE ➡ ⏮ ⏭ ➡ ENTER

- メニューモード時に20秒以上操作しないと ⏮ または ⏭ キーは通常モードに戻ります。

⓭ 基本操作キー

CD ▶/❚❚ キー → 26

入力をCDプレーヤーに切り換え、再生を開始します。CD再生中に押すと一時停止をします。

MD ▶/❚❚ キー → 29

入力をMDレコーダーに切り換え、再生を開始します。MD再生中に押すと一時停止をします。MD録音中に押すと録音を一時停止します。

TUNER / BAND キー → 32

入力をチューナーに切り換えます。

放送バンドを切り換えます。

■ (STOP)/TUNING MODE キー

CD、MD のとき： → 27 → 30

ディスクの操作を停止するときに使います。

チューナーのとき： → 35

AUTO（オート選局、ステレオ受信）とMONO（マニュアル選局、モノラル受信）の切り換えを行います。

スタンバイ状態のとき： → 18

表示部に時計を表示します。

⓮ ⏏（MD 取り出し）キー → 30

MDを取り出すときに使います。

⓯ SOUND CONTROL つまみ → 23

SOUND SELECTORで選択された**SOUND**モードの調整を行います。

⓰ MD 挿入口

⓱ REC キー → 39

MDに録音をするときに使います。

⓲ ヘッドホン端子 → 20

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

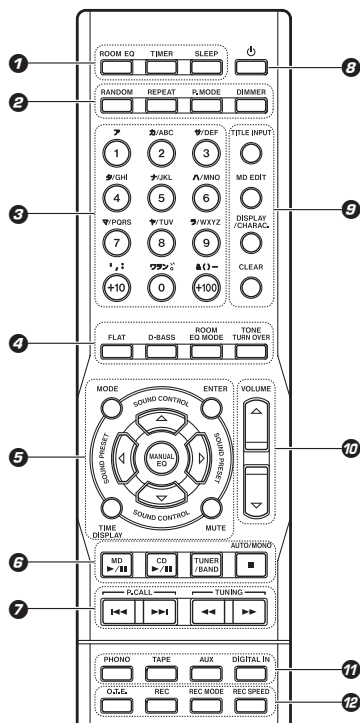
⓳ リモコン受光部 → 17

リモコンからの信号を受信します。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーター(赤)が点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

❶ **ROOM EQ キー** →21

セッティングした場所で最適な音場を自動設定します。

TIMER キー →83

プログラムタイマーの実行モードを設定するときに使います。

SLEEP キー →79

おやすみタイマーを設定するときに使います。

❷ **RANDOM キー（CD、MD）** →48

曲順を順不同に再生します。

REPEAT キー（CD、MD） →47

繰り返し再生するときに使います。

P.MODE キー（CD、MD） →45

トラックモードやグループモードまたはプログラムモードに切り換えるときに使います。

DIMMER キー →84

表示部の輝度調整やキーイルミネーションのON／OFFを切り換えます。

❸ **文字／数字キー**

CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNERのプリセットコールキーとして使います。

→27 →30 →36 →45 →46

MDのタイトル入力のとき、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。 →63

❹ **サウンド設定モードキー**

3種類のデジタルサウンドイコライザーモードまたはフラットを選ぶことができます。

FLAT キー →25

D-BASS キー →23

ROOM EQ MODE キー →22

TONE TURN OVER キー →23

❺ **SOUND PRESET (◁/▷) キー** →25

プリセットされたサウンドを呼び出したり、調整したいイコライザーの周波数バンドを選びます。

SOUND CONTROL (△/▽) キー →23 →24

サウンドコントロールのレベルを調節します。

MANUAL EQ キー →24

マニュアルイコライザーの調整モードに切り換えます。

MODE キー

各種機能設定の選択モードに切り換えます。

TIME DISPLAY キー →28 →31

CDやMDなどの時間表示を切り換えるときに使います。

ENTER キー

MDの編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。

チューナーのプリセットメモリーの確定に使います。

MUTE キー →20

一時的に音を消したいときに使います。

❻ **基本操作キー**

（CD、MD共用のキーは、入力切り換えに応じて動作します）

MD ►/II キー →29 **/ CD ►/II キー** →26

TUNER/ BAND キー →32

AUTO/MONO ■ (STOP)キー

→18 →27 →30 →35

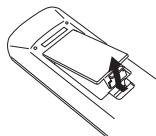
❼ **P.CALL (I◄◄ / ►►I) キー**

CD、MDのとき： →27 →30

スキップ(曲の飛び越し)に使います。

MDの編集にも使用します。

チューナーのとき： →32

記憶させた放送局を受信するときに使います。

TUNING (◀◀ / ▶▶) キー

CD、MD のとき： → 27 → 30

早送り、巻戻しに使います。

MD のタイトル入力のときカーソルの移動に使います。

チューナーのとき： → 35

放送局の選択に使います。

❽ ⏻ (POWER)キー → 19

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❾ TITLE INPUT キー → 62

MD にタイトル入力をするときに使います。

MD EDIT キー → 54 ～

MDの曲を編集するとき､曲の移動や消去などに使います。

DISPLAY ／ CHARAC. キー → 28 → 31

CD-TEXT 対応のCDディスクやMDを操作中に押すと、ディスクのタイトルや曲のタイトルをスクロールします。

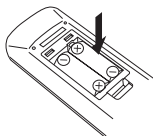
MD のタイトル入力操作中に押して、目的の文字グループを選ぶときに使います。

曜日、時計を表示します。

CLEAR キー

プログラムした曲を取り消します。 → 46

MD のタイトル入力のとき、1 文字を削除します。→ 63

プリセットした放送局を消去するときに使います。→ 36

❿ VOLUME (△ / ▽) キー → 20

音量を調節するときに使います。

⓫ 外部入力キー → 37

PHONO キー

TAPE キー

AUX キー

DIGITAL IN キー

外部入力をそれぞれのソースに切り替えます。

⓬ O.T.E. キー → 40 → 50

CD をワンタッチで MD に録音できます。

CDの再生中に押すとそのとき再生している曲だけを、また停止中に押すと CD の全曲を MD に録音します。

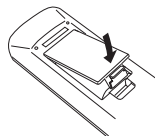
REC キー → 39

REC MODE キー → 42

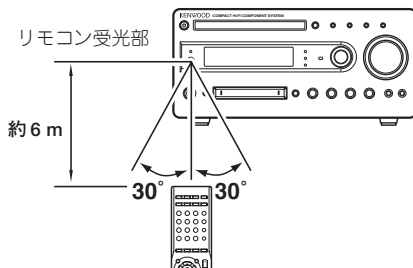
MD への録音モードを選択します。ステレオ、LP2、LP4、モノラルの中から選ぶことができます。

REC SPEED キー → 49

CD から MD に録音するときの録音速度を通常の速度と 4 倍速から選択できます。

電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

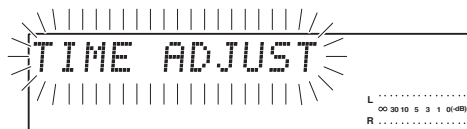
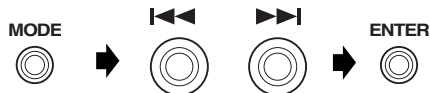
❸ カバーを閉める

● 単 4 乾電池 2 本を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⏻ (POWER)キーを押すと電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
● 操作できる距離が短くなったら、2 本とも新しい電池と交換してください。
● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

時刻合わせ

タイマーを使うときに必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませておいてください。

電源をオンにする。

1 時刻合わせモードにする

MODE(モード)キーを押し、メニューから⏮または⏭キーで"TIME ADJUST(タイム アジャスト)"を選び、ENTER(エンター)キーを押す

MODE

ENTER

- 曜日表示部が点滅を始めます。

2 "曜日"を合わせる

月曜日、午前8時7分に合わせる例

- ENTER(エンター)キーを押すと"曜日"が設定されて、"時"表示が点滅します。

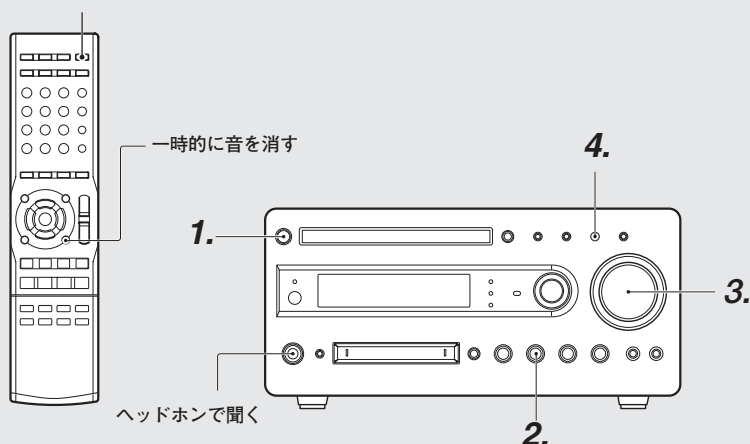
3 "時"を合わせる

月曜日、午前8時7分に合わせる例

- ENTER(エンター)キーを押すと"時"が設定されて、"分"表示が点滅します。

4 "分"を合わせる

月曜日、午前8時7分に合わせる例

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- ENTER(エンター)キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE(コンプリート)"と表示します。
- 停電があったり,電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、■(STOP(ストップ))キーを押すと8秒間時刻を表示します。

1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときに ⏻ (POWER)キーを押すとオフ（スタンバイ）になります

- **CD ►/II**、**MD ►/II**、**TUNER/BAND** または **INPUT SELECTOR** キー（リモコンは外部入力キー）を押しても、電源がオンになり、再生（受信）します。
- CD、MDを選んだとき、すでにディスクが入っている場合は、再生が始まります。

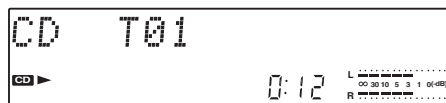
2. 聴きたいソース（音源）を選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD ►/II

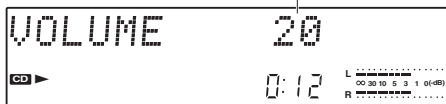
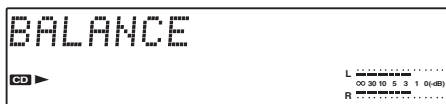
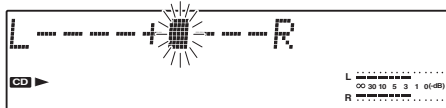
例：外部入力を選ぶ時

INPUT SELECTOR

CD →26
MD →29
TUNER（ラジオ） →32
PHONO/TAPE/AUX（外部入力）［インプットレベルを調整する］→37
DIGITAL IN（外部入力）

- **CD ►/II**、**MD ►/II**、**TUNER/BAND** キーを押すとその入力に切り換わります。また、外部入力は **INPUT SELECTOR** キーを押してそれぞれの入力に切り換えます。**PHONO/TAPE/AUX/DIGITAL IN** の順に切り替わります。

CD を選んだとき

次ページに続く

基本編

3. 音量を調節する

音量の表示

● 表示部に目安の数字が表示されます。

4. バランス（左右の音量）を調整する

MODE

ENTER

❶ MODE キーを押して |◀◀ または ▶▶| キーでメニューから "BALANCE" を選び、ENTERキーを押す。

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して好みのバランスを調整し、ENTERキーを押す。

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- 端子にプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

MUTE

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ルームイコライザー機能を使う

測定中はスピーカーより大きなテスト信号が出力されます。特に夜間には近隣やお子さまに十分配慮してください。

ルームイコライザー機能は、スピーカーより出力されるテスト信号を付属のマイクで測定し、リスニングポジションに最適な音場になるように、以下の調整を自動で設定します。

1. スピーカーからの音の遅延
2. 左右のスピーカーからの音量レベルの差
3. スピーカーの周波数特性および室内の音響特性

部屋の音響特性を測定する(ROOM EQ)

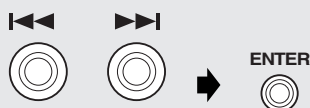
❶ 付属のマイクを本機背面のROOM EQ MIC IN端子に接続する　接続のしかた → 11

❷ マイクの本体部をリスニングポジション（耳の高さ）に置く

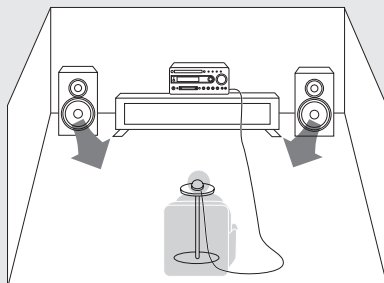
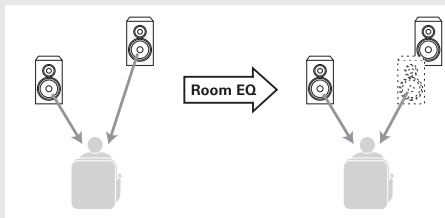
❸ MODE キーを押して |◀◀ または ▶▶| キーでメニューから"ROOM EQ" を選び、ENTERキーを押す。またはリモコンの ROOM EQ キーを押す

または

ROOM EQ

❹ |◀◀または ▶▶|キーで "R. EQ START"を選び、ENTER キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに以下のように切り換わります。

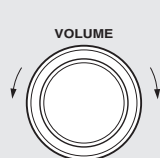
"R.EQ START"：測定を開始します
"R.EQ OFF"　：設定されている特性を一時的に解除します
"R.EQ CALL"　：設定されている特性を呼び出します

- 測定が完了するまでに約 1 分間かかります。
- ROOM EQ 用マイクが接続されていないとき、あるいはヘッドホンが接続されていると "CAN'T SETUP" と表示され、測定できません。
- 測定終了後、必ずマイクを本体から外してください。
- 使用環境により効果がはっきりと表れない場合があります。

- 測定中と測定完了時の表示
  測定中は本体の ROOM EQ インジケーターが点滅し、測定が完了すると本体の ROOM EQ インジケーターと表示部の "RoomEQ" 表示が点灯します。

- 測定のイメージ
  マイクは耳の位置に置いてください。
  スピーカーとマイクの間には障害物を置かないでください。

- ルームイコライザー機能の効果のイメージ

基本編

測定を中断するには

本体のVOLUMEつまみを回すか、リモコンのVOLUME △/▽ キーを押す

- 本体とリモコンの **MODE** キーおよびリモコンの **ROOM EQ** キーを押し、**"R.EQ CANCEL?"** と表示されてから、**ENTER** キーを押しても測定を中断し、開始前の状態に戻ります。

ROOM EQの特性を状況にあわせて変える(ROOM EQ MODE)

❶ **SOUND SELECTOR キーを押して ROOM EQ MODE を選ぶ。または、リモコンの ROOM EQ MODE キーを押す**

❷ **SOUND CONTROL つまみ、または SOUND CONTROL △ または ▽ キーでモードを選ぶ**

以下のモードを選ぶことができます

"NORMAL"：**ROOM EQで測定された結果を忠実に再現するモードです。通常はこのモードを使用してください。**

"WIDE"：**測定したポジションを中心に、比較的広い範囲で違和感なく音楽をお楽しみいただけるモードです。ホームパーティー等、お部屋の中を動き回りながらお聞きいただく際に便利です。**

"NIGHT"：**深夜など、小音量で音楽をお楽しみいただく際に便利なモードです。ボーカル等のメロディー帯域を中心とした調整となるので、小音量でも比較的お聞きになりやすい音場設定ができます。**

- 本体の**ROOM EQ MODE**インジケーターが点滅、選択すると点灯します。
- 各モードとも20秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

デジタルサウンドイコライザー機能を使う

D-BASS の設定

❶ SOUND SELECTORキーを押してD-BASSを選ぶ。または、リモコンのD-BASSキーを押す

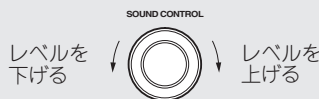
SOUND SELECTOR

または

D-BASS

- 本体のD-BASSインジケーターが点滅します。

❷ SOUND CONTROLつまみ、またはSOUND CONTROL △または▽キーでレベルを調整する

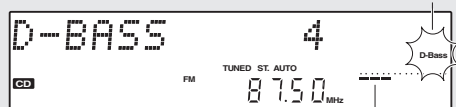
本体の場合

SOUND CONTROLつまみを回す

- サウンド設定モードOFF時にSOUND CONTROLつまみを回すだけでD-BASS設定に入ることができます。

リモコンの場合

SOUND CONTROL △または▽キーを押す

- 0から10までの範囲でレベルを調整できます。
- 20秒後に元の表示に戻ります。
- 設定完了後、本体のD-BASSインジケーターが点灯します。(レベル1以上のとき)

D-Bass表示が点灯

D-Bassのレベルを表示

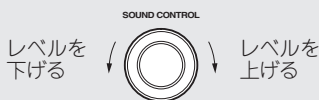
TONE / TURN OVER の設定

本機では低音部と高音部をお好みに応じて設定できます。(TONE)　さらに低音部と高音部の特性を3段階にきめ細かく調整できます。(TURN OVER)

❶ SOUND SELECTOR キーを押して BASS を選ぶ。または、リモコンのTONE TURN OVERキーを押す

SOUND SELECTOR

または

TONE
TURN OVER

❷ SOUND PRESET ◁または▷キーを押して低音部（BASS）の周波数（Low: 100Hz、Mid:150Hz、High: 200Hz）を選ぶ

❸ SOUND CONTROL つまみ、または SOUND CONTROL △または▽で低音部（BASS）のレベルを調整する

本体の場合

SOUND CONTROLつまみを回す

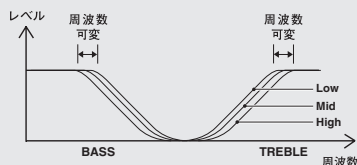
リモコンの場合

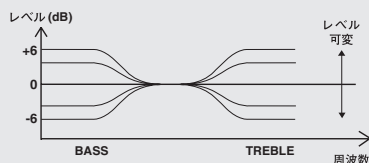
SOUND CONTROL △または▽キーを押す

次ページに続く

❹ ❷と❸を繰り返して好みの低音に調整する

❺ SOUND SELECTORキーを押してTREBLEを選ぶ。または、リモコンのTONE TURN OVERキーを押す

❻ SOUND PRESET ◁または▷キーを押して高音部（TREBLE）の周波数（Low: 5kHz、Mid: 7kHz、High: 10kHz）を選ぶ

❼ SOUND CONTROLつまみ、またはSOUND △または▽キーで高音部（TREBLE）のレベルを調整する

❽ ❻と❼を繰り返して好みの高音に調整する

❾ SOUND SELECTORキーまたは、リモコンのTONE TURN OVERキーを押す

- -6(dB)から+6(dB)まで1(dB)ステップでレベルを調整できます。
- 各モードとも、20秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。
- 設定完了後、本体のTONEインジケーターが点灯します。（レベル0以外のとき）

- 周波数可変のイメージ（TURN OVER設定）

- レベル調整のイメージ

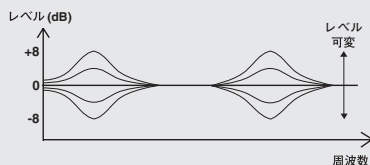
好みの音質を作る（MANUAL EQ設定）

本格的な7バンドのイコライザーを搭載していますので、重低音域から超高音域まで（→25）ある周波数を中心とした音域のカーブが、自由に作れます

❶ リモコンのMANUAL EQキーを押す

- イコライザーカーブ、レベルおよび周波数が表示され、"EQ"が点滅します。

❷ 設定したいイコライザーのバンド（周波数）を選ぶ

SOUND PRESET ◁または▷キーで設定したいバンドを選ぶ

- 選ばれたバンドのイコライザーが点滅します。
- 7種類のバンドから選ぶことができます。

❸ 設定したいイコライザーのレベルを設定する

SOUND CONTROL △または▽キーで設定したいイコライザーのレベルを調節する

- -8(dB)から+8(dB)まで1(dB)ステップで調整できます。
- もう一度MANUAL EQキーを押すか、20秒以上キーの操作がないと、マニュアル設定モードを解除します。
- レベル調整のイメージ

作り出した音を記憶させる

❶ MODE(モード)キーを押して ⏮ または ⏭ キーでメニューから"SOUND PRESET"(サウンド プリセット)を選び、ENTERキーを押す

- サウンドプリセット表示部の " ❶ "、" ❷ "、" ❸" が点滅します。
- 数字および文字情報表示部には "PRESET"(プリセット) と "1"、"2"、"3" と表示されます。
- 音のパターンはサウンドの種類によらず全部で 1 から 3 までの 3 個がプリセットできます。
- ルームイコライザーの設定も記憶されます。

❷ ⏮ または ⏭キーで記憶させたいメモリーを 1 から 3 のうちから選び、ENTER(エンター)キーを押す

- プリセット表示部に選択されたメモリーの番号が点灯します。

記憶させた音のパターンを呼び出す

リモコンのみ

SOUND PRESET(サウンド プリセット) ◁ または ▷ キーを押す

- "SOUND PRESET"(サウンド プリセット) と " ❶ " が表示されます。
- 出荷時はフラットに設定されています。
- 3 秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。
- リモコンの FLAT(フラット) キーを押すか、または本体部の SOUND SELECTOR(サウンド セレクター) キーを 2 秒以上押すと、レベルを 0 にすることができます。

D-Bass(バス)表示に変わります

音質調整について

重低音域の調整 (バンド 1：63Hz)
これらのレベルコントロールを上昇させると、ベースのように低音域の楽器がどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときには、適当と思われるところまで下降させます。

低音域の調整(バンド 2：160Hz)
日本の建築様式では、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、ブーミーな感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

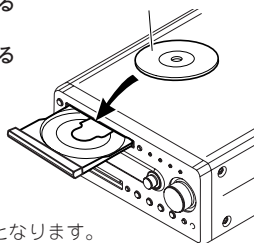
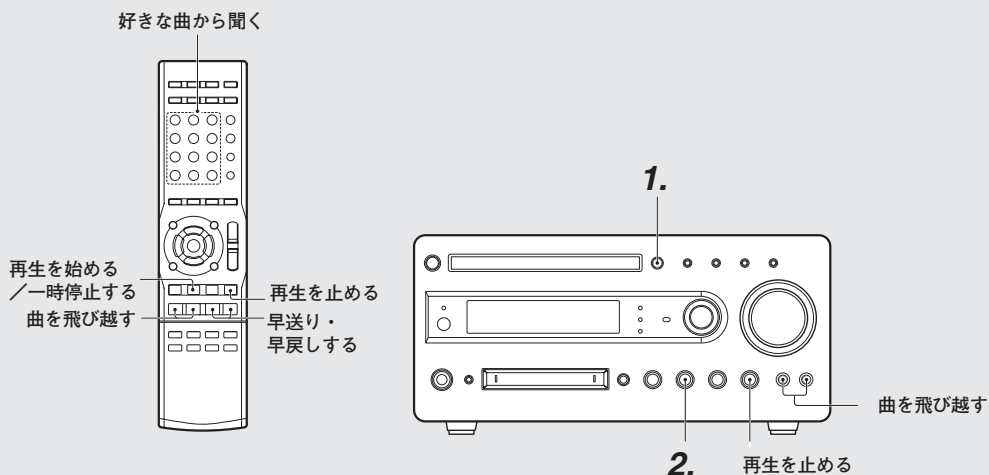
中低音域の調整 (バンド 3：400Hz)
音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられるところです。もの足りない音だと思われるときには、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。

中音域の調整 (バンド 4：1kHz)
この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり､奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

中高音域の調整 (バンド 5：2.5kHz)
この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところです。うまく調整すれば、爽快さや明るさがでてきますが、反面うるさい感じになることもあります。

高音域の調整 (バンド 6：6.3kHz)
この周波数帯域は、硬い感じとか、柔らかい感じといわれるところです。上昇させると弦楽器(バイオリンなど)や、管楽器(フルート、ピッコロなど)が強調され、艶のある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

超高音域の調整 (バンド 7：16kHz)
この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです｡上昇させると超高音域の楽器(トライアングル、シンバルなど)が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

CD を聞く

CD トレイにあらかじめディスクを入れておくと CD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

基本編

1. ディスクを入れる

❶ ▲ キーを押して CD トレイを開ける
❷ ディスクをトレイにのせる
❸ ▲ キーを押して CD トレイを閉める

- 再生面に触れないようにします。
- ディスクをずらして置くと故障の原因となります。

2. 再生を始める

CD ►/II

- 数秒後に 1 曲目から再生します。
- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

再生を始める／一時停止する

- 押すたびに一時停止と再生が切り換わります。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

早戻し
早送り

- 再生中に押しつづけます。手を放したところから再生します。

再生を止める

曲を飛び越す

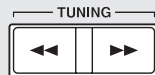
戻る ⏮　⏭ 進む

- 押した方向に飛び越して選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に⏮キーを押すとその曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く⏮キーを押します。
- 停止中でも ⏮ または ⏭ キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

好きな曲から聞く

リモコンのみ

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は

12 曲目なら .... +10、2

30 曲目なら .... +10、+10、+10、0

CD を取り出す

本体のみ

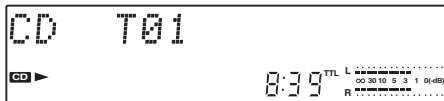
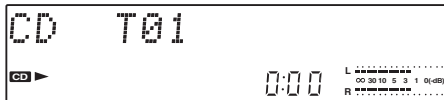
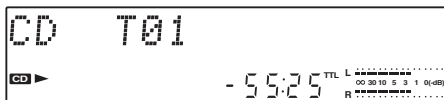
- CD トレイが開きます。（もう一度押すと閉まります。）

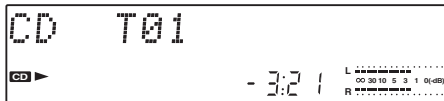
⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

基本編

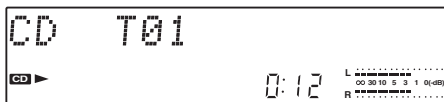
CD プレーヤーの時間表示について

TIME DISPLAYキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

① 再生中の曲の経過時間

② 再生中の曲の残り時間 ("-" 点灯)

③ ディスク全体の経過時間 ("TTL" 点灯)

④ ディスク全体の残り時間 ("TTL"、"-" 点灯)

- 1曲リピート再生時やランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "– – –:– –" と表示されます。

CD-TEXT 対応ディスクのタイトル表示について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生するとCDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトル（アルファベットや数字の場合）が自動的に表示されます。また、リモコンのDISPLAY/CHARAC. キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

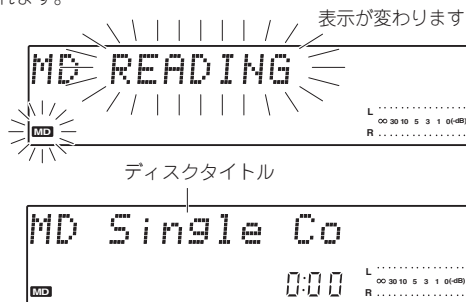
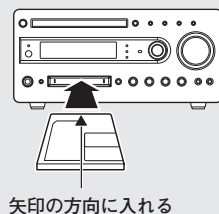
① トラックナンバーを表示

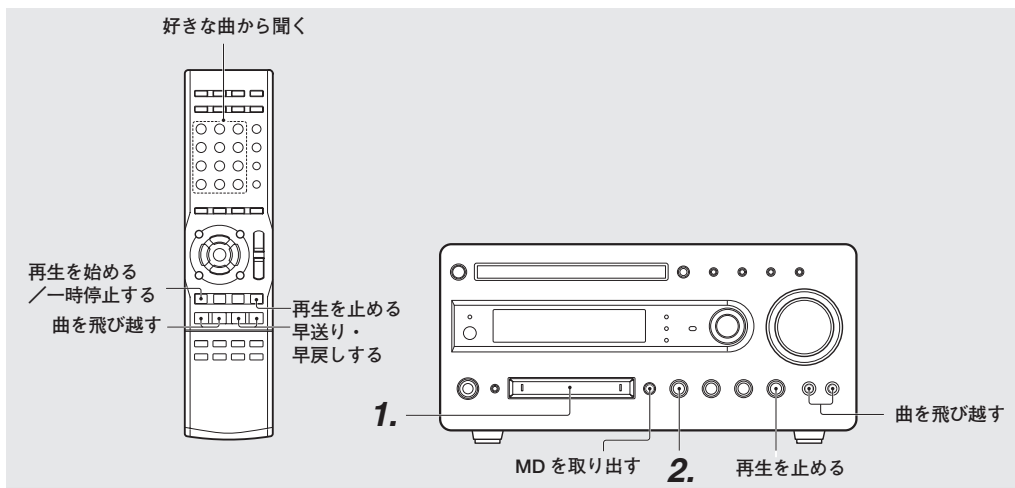
② タイトルを表示

③ 曜日および時計を表示

- **CD-TEXT** 対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が1000文字を超えると "**CD TEXT FULL**" と表示されます。

- 再生できる CD については、「本機で使用できるディスクについて」をご覧下さい。 →86
- 本機ではファイナライズされていない CD-R/RW は再生できません。
- 本機では CD-R/RW のデータ信号など、音楽データ以外のデータは再生できません。
- 録音機器の録音特性（ピックアップなど）、使用する CD-R/RWディスクの特性や録音状況などによっては本機で CD-R/RW を再生できないことがあります。

MD を聞く

MD レコーダーにあらかじめ MD を入れておくと MD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。MD の曲は録音したときの録音モード（例：MDLP/ ステレオ 2 倍長時間録音（LP2）など）にしたがって再生されます。

基本編

1. MD を入れる

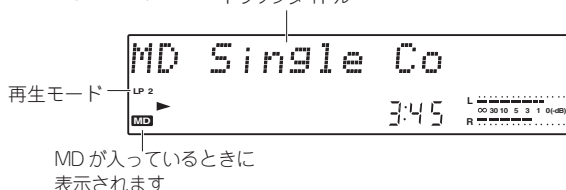
MD を本機の挿入口へ確実に入れてください

- MD にディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

スタンバイ状態時は MD の出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理に MD を入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生を始める

- 数秒後に 1 曲目から再生します。
- トラックタイトルが記録されているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。

基本編

再生を始める／一時停止する

- 押すたびに一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

リモコンのみ

数字キーを押す順序は
12 曲目なら .... +10、2
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
102 曲目なら ..... +100、2

- "MD READING（リーディング）" の点滅中にディスクにないトラックナンバーを選ぶと、そのディスクに収録されている最後の曲を再生します。

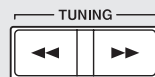
MDLP について

MDLP は MD 規格に適合した新しい音声圧縮方式 ATRAC3 を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードの機能を持った MD レコーダーや MDプレーヤーまたは、ATRAC3 により音声録音されているMD メディア（再生専用 MD）に表示されています。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

早戻し

早送り

- 再生中に押しつづけます。手を放したところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

曲を飛び越す

戻る

進む

- 押した方向に飛び越して選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ⏮ キーを押すとその曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く ⏮ キーを押します。
- 停止中でも ⏮ または ⏭ キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

MD を取り出す

本体のみ

- MD を取り出したまま挿入口に放置しないでください。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

MD レコーダーの時間表示について

TIME DISPLAYキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

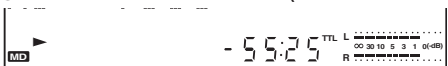
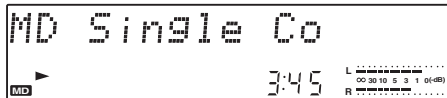
リモコンのみ

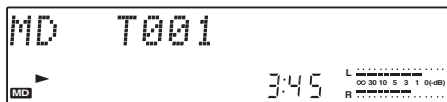
- 1曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①、②のみ表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "– – –:– –" と表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

② 再生中の曲の残り時間 ("-" 点灯)

③ 録音された曲全体の経過時間 ("TTL" 点灯)

④ 録音された曲全体の残り時間 ("TTL"、" – " 点灯)

⑤ MD の録音可能残り時間

MD レコーダーのタイトル表示について

リモコンの DISPLAY/CHARAC. キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

① タイトルを表示

② トラックナンバーを表示

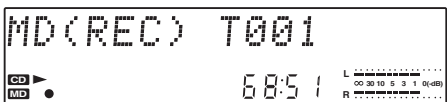
③ 曜日および時計を表示

リモコンのみ

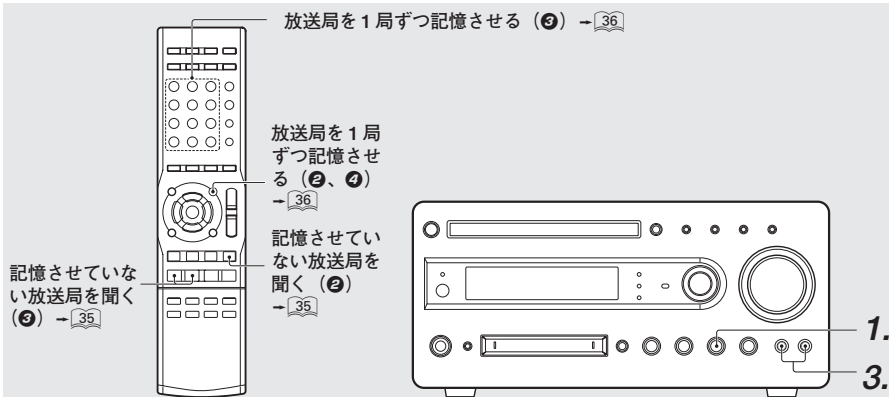
DISPLAY
/CHARAC.

CD から MD へ録音中に操作すると、

① MD の録音可能残り時間を表示

② 再生中の曲のタイトル表示
(CD-TEXT 未対応ディスクの場合は、トラックナンバーを表示します)

- 曲名（トラックタイトル）ならびに MD 名（ディスクタイトル）が登録されていない場合は、"・・・・・・・・・" が表示されます。
- 1曲も録音されていないときは、"BLANK DISC" と表示されます。（ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます。）

ラジオ放送を聞く

TUNER/BAND（チューナー/バンド）キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

1. 入力をチューナーにする

放送バンドは TUNER/BAND（チューナー/バンド）キーを押すたび、以下のように切り換わります

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） →33

お住まいの都道府県名を設定するとお住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの放送局を受信すると放送局名を（FM 放送のみ）表示します。

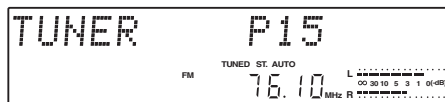
- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を 1 局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット） →36

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは "**記憶させていない放送局を聞く(オート選局、マニュアル選局)**" をお読みください。

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮ または ⏭ を押して選局します。
押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

受信すると **"TUNED"**（チューンド）が点灯
ステレオ受信時に **"ST."** が点灯

周波数の表示

⏭ を押すと : 01 → 02 → 03 ..... 38 → 39 → 40 → 01 .....
⏮ を押すと : 40 → 39 → 38 ..... 03 → 02 → 01 → 40 .....

- リモコンでは、 **P. CALL**（コール） ⏮ または ⏭ キーあるいは数字キーを押して選局します。押したままにすると約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別 FM 放送局名自動表示）

❶ 入力を TUNER（チューナー）にする

❷ " ケンメイ　セッテイ " を選ぶ

（都道府県名が点滅中に ENTER（エンター） キーを押す）

❸ お住まいの都道府県名を選ぶ

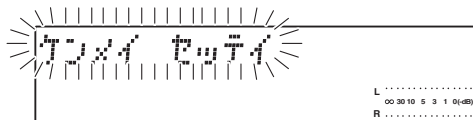
❹ オートプリセットを始める

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、リモコンの "P.MODE（モード）" キーを押してリストにある別の放送局名に変えることができます。押すたびに切り換わります。

リモコンのみ

ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局名が正しく表示されない場合があります。

メモ　オートプリセットは FM および AM の放送局をあわせて、最大 40 局まで登録します。
放送局名表示は " エリア別 FM 放送局名自動表示リスト " に載っている FM 放送局のみに対応しています。 →34

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、" **ミセッテイ** " と表示されます。

" トウキョウ " を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、" **エリア別 FM 放送局名自動表示リスト** " に従ってオートプリセットされます。

- **"AUTO（オート） PRESET（プリセット）"** 表示が点滅し、順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。 →36
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および **"TUNED（チューンド）"** が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。 →34
- オートプリセットが終わると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

基本編

基本編

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2004年10月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエムアキタ
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FM GUNMA
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	岐阜FM放送	ギフFM
	新潟県民エフエム	FmPort.com
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	AFN オキナワ	AFN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
電波の状態が良いとき：オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき：マニュアル選局モード

❶ 入力を TUNER（チューナー）にする

❷ オート選局とマニュアル選局を切り換える

❸ 選局する

周波数が下がる　周波数が上がる

リモコンのTUNING（チューニング） ◀◀ または ▶▶ キーも使うことができます。

● FM 放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

TUNING（チューニング） MODE（モード） キーを押すたびに切り換わります。

"AUTO（オート） TUNE（チューン）": ステレオ受信（"**AUTO（オート）**" 点灯）
"MANUAL（マニュアル） TUNE（チューン）":モノラル受信（"**AUTO（オート）**" 消灯）

● 通常は **AUTO（オート） TUNE（チューン）**（オート選局、ステレオ受信）を選んでください。

オート選局のとき：

⏮ または ⏭ キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

受信するまで繰り返し ⏮ または ⏭ キーを押します。あるいは⏮ または ⏭ キーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら放します。

基本編

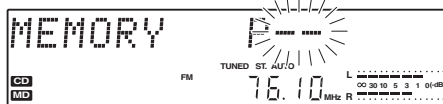
放送局を1局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

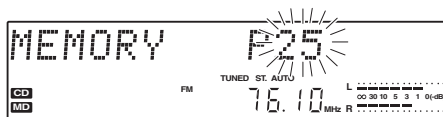
❶ "記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する →35

❷ 受信中に ENTER キーを押す

（"P ーー" 点滅中に、手順❸へ）

❸ 1～40 までのプリセット番号を選ぶ

リモコンの数字キーを使うとプリセット番号を直接入力することができます。

❹ もう一度 ENTER キーを押す

ENTER

（続けてプリセットする場合は、手順❶～❹を繰り返す）

"- -" 点滅(20 秒間)

- 入力が完了すると "COMPLETE" と表示されます。
- 最大 40 局まで放送局を記憶できます。

- 同じ番号を重ねて記憶させると新しい設定内容に変更されます。

プリセットした放送局を消すには：

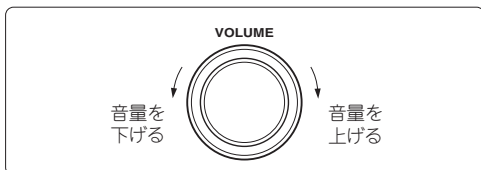
❶ P.CALL ⏮ または ⏭ キーあるいはリモコンの数字キーを押して、消去したい放送局を選ぶ。

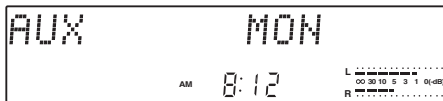
❷ CLEAR キーを押す。
"CLEAR?" が約 8 秒間表示されます。

❸ "CLEAR?" が表示されている間に ENTER キーを押す。
放送局がプリセットから消去されます。

- 消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は、前に繰り上がります。
ただし、プリセット No.40 に記録された放送局は消去できません。
- 繰り上がって空いたスペース（P40）には、"FM76.00MHz" が入ります。

外部入力ソースを聞く

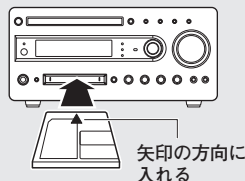
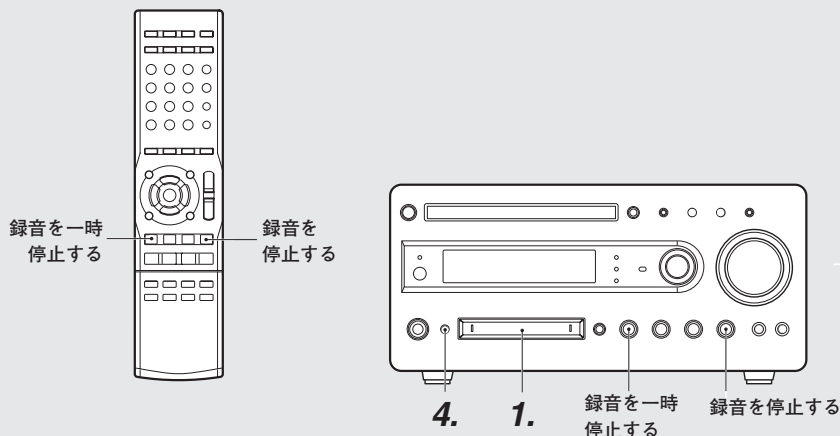
1 INPUT SELECTOR キー（またはリモコンの外部入力キー）を押す

キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"PHONO"
"TAPE"
"AUX"
"D-IN"

- リモコンでは PHONO、TAPE、AUX、DIGITAL IN キーを押して選びます。

2 接続した機器を再生する

3 音量を調節する

外部入力レベルを調整する（PHONO、TAPE、AUX）

外部入力端子に接続された外部機器（ビデオデッキ等）からの外部入力レベルを調整します。CD、MD 等と同じくらいの大きさで聞こえるよう必要に応じて調整してください。

外部入力レベル

- -3～+5 の範囲で調整できます。
- 外部入力レベルを調整すると外部入力端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。
- 操作の途中で 20 秒間放置すると操作は中止されます。

MDに録音する

MDへの録音は、すべての録音機能でATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。CDを録音するには"便利な録音あれこれ"をご覧ください。→49

1. 録音の準備をする

❶ MDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする →87
❷ MDを入れる

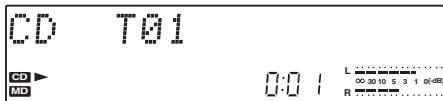
スタンバイ状態時は、MDの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

"MD"以外の入力ソースを選ぶ

例：CDを選ぶ時

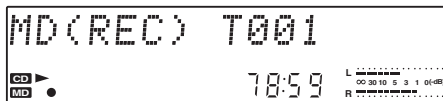
CD ►/II

2. 録音ソース（音源）を選ぶ

CD：デジタルまたはアナログ録音
TUNER（ラジオ）：アナログ録音のみ
PHONO、TAPE、AUX（外部入力）
：アナログ録音のみ［外部入力レベルを調整する →37］
DIGITAL IN（外部入力）
：デジタル録音のみ

表示部に録音する入力ソースが表示されます。

- すでにCDが入っているときは再生が始まります。
  ■ (STOP) キーを押して止めます。

3. 録音ソースの準備をする

CD：録音したい曲（トラック）の初めで再生一時停止にする
TUNER (ラジオ)：選局する
PHONO、TAPE、AUX、DIGITAL IN (外部入力)
：受信や再生などの準備をする →37

REC

4. 録音を始める

❶ REC(レコーディング) キーを押す（録音一時停止状態になります）
❷ すべての準備が完了後、再度 REC(レコーディング) キーを押す（録音が始まります）
❸ ソース（音源）の再生を始める（チューナーの場合、この手順は不要です）

- CD を録音するとき、❶ のあとに CD ▶/II キーを押すと、CD の再生と同時に録音が始まります。（CD シンクロ録音）
- 大音量で録音を行うと MD 再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。
- スピーカーからは実際録音される音が聞こえます。
- 録音時は録音残量時間、トラックナンバーを表示します。

MD(REC) T001
CD ▶ MD ● 78:59 L ∞ 30 10 5 3 1 0(-dB) R

基本編

録音を一時停止する

MD ▶/II

- 再び録音を始めるときはもう一度押します。このとき、トラック番号は "1" 繰り上がります。
REC(レコーディング) キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する

■

TUNING MODE

- "MD WRITING(ライティング)" 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。
- CDを録音しているときはCDプレイヤーも停止します。

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL"(ディスク フル) : MD が一杯になっている。➡ 不要な曲を消す。→57
"PROTECTED"(プロテクテッド) : 誤消去防止つまみが開いている。➡ 閉める。→87
"PLAY ONLY"(プレイ オンリー) : 再生専用 MD である。➡ 録音用ディスクを入れる。
"SCMS" : SCMS によりデジタルコピー禁止のソースを録音しようとしている。➡ アナログ録音を選ぶ。→41
"MD NO DISC"(ノー ディスク) : MD ディスクが入っていない。➡ 録音用ディスクを入れる。

O.T.E.（ワンタッチエディット）機能を使ってCDを録音する

CDの全曲をワンタッチで録音できます。（全曲録音）
CDを聞いているとき、今聞いている曲だけをワンタッチで最初から録音できます。（1曲録音）

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力切換を "CD" にする
❷ "RDM（ランダム）" 表示の消灯を確かめる →48
❸ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
❹ CDプレーヤーにディスクを入れる
❺ "HIGH（ハイ）" 表示の消灯を確かめる →49

- "RDM（ランダム）" 表示が点灯しているときはRANDOM（ランダム）キーを押し、ランダム再生モードを解除します。
- "HIGH（ハイ）" 表示が点灯しているときは、4倍速録音になります。

2 録音モードを選ぶ

"録音モードを設定する" を行う →41

3 CDの再生状態を確認する

全曲録音	1曲録音
再生中のときは停止させる ■ TUNING MODE	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順4を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。 （他の曲を録音するときは、手順3と4を繰り返します）

4 録音を始める

MODE（モード）キーを押し、メニューから⏮または⏭キーで"O.T.E. START（ワンタッチエディット スタート）"を選びENTER（エンター）キーを押す

リモコンで操作するときは、O.T.E.（ワンタッチエディット）キーを押す。

- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING" が表示されます。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

基本編

録音モードを設定する

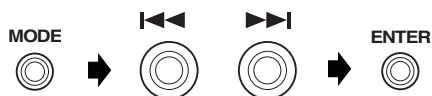
長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器で再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。
デジタルサウンドイコライザー録音するときはあらかじめ録音したいサウンドを選び、周波数のカーブを調整してください。→24

1 REC INPUT の設定

❶ MODEキーを押し、メニューから⏮または⏭キーで "REC INPUT" を選び ENTER キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して録音入力を選び、ENTER キーを押す

⏮または⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"DIGITAL"：CD からのデジタル録音入力（初期設定）
"ANALOG"：CD からのアナログ録音入力
"DIGITAL EQ. REC"：デジタルサウンドイコライザー録音入力
- →24 ～ →25 で設定したサウンドで録音できます。
- デジタル信号のクリップを防ぐため、多少音量が小さく録音されます。レベルメーターを見ながらクリップしない範囲で録音レベルを調整することができます。（7. 録音レベルを設定する →43）

D-Bass、TONE および ROOM EQ の設定は録音されません。

INPUT SELECTOR が D-IN の場合は "DIGITAL EQ. REC" はできません。

次ページに続く

2 REC MODEの設定

❶ MODEキーを押し、メニューから|◀◀または▶▶|キーで"REC MODE"を選びENTERキーを押す

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して録音モードを選び、ENTERキーを押す

|◀◀または▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"STEREO"（ステレオ録音）: MDカートリッジに表示されている時間分録音できます（初期設定）

"LP2"（ステレオ2倍長時間録音）: MDカートリッジに表示されている約2倍の時間で録音できます（**"LP 2"**点灯）

"LP4"（ステレオ4倍長時間録音）: MDカートリッジに表示されている約4倍の時間で録音できます（**"LP 4"**点灯）

"MONO"（モノラル録音）: MDカートリッジに表示されている2倍の時間でモノラル録音ができます（**"MONO"**点灯）

- リモコンの **REC MODE** キーを押すと❶、❷の操作が一度に行えます。

3 LP STAMPの選択

REC MODEの設定でLP2、LP4を選択するとLP STAMP選択モードになります。

|◀◀または▶▶| キーを押して"LP:STAMP ON"または"LP:STAMP OFF"を選び、ENTERキーを押す。

|◀◀または▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"LP:STAMP ON" :曲タイトルの頭の部分に **"LP:"** の文字が入ります（初期設定）（スタンプ(STAMP)の機能 → 44）

"LP:STAMP OFF" :曲タイトルの頭の部分に **"LP:"** の文字が入りません

4 テキストデータコピーを設定する

❶ MODEキーを押し、メニューから|◀◀または▶▶|キーで"TEXT COPY"を選びENTERキーを押す

❷ |◀◀または▶▶| キーを押して"COPY ON"または"COPY OFF"を選び、ENTERキーを押す

|◀◀または▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"COPY ON" :CDのテキストデータ(CD TEXT DISC)をMDにコピーします

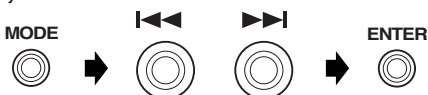
"COPY OFF" :CDのテキストデータ(CD TEXT DISC)をMDにコピーしません（初期設定）

- 短い曲（約10秒以下）が録音する曲に含まれているとき、正しくテキストデータがコピーされない場合があります。

5 GROUP MAKEの設定

❶ MODEキーを押し､メニューから|◀◀または▶▶|キーで"GROUP MAKE"を選びENTERキーを押す

❷ |◀◀または▶▶| キーを押して"GROUP ON"または"GROUP OFF"を選び、ENTERキーを押す

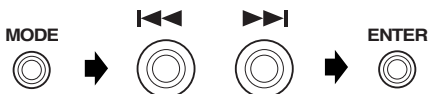
|◀◀または▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"GROUP ON" : CDの全曲をグループ録音に登録する設定（初期設定）（グループ録音の設定 → 77）

"GROUP OFF" : グループに登録しない設定

基本編

6 AUTO MARKの設定（TUNER録音時のみ）

❶ MODEキーを押し､メニューから|◀◀または▶▶|キーで"AUTO MARK"を選びENTERキーを押す

❷ |◀◀または▶▶| キーを押してAUTO MARK時間を選び、ENTERキーを押す

|◀◀または▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"A.MARK 5min" : 5分毎にマーク挿入（初期設定）

"A.MARK 10min" : 10分毎にマーク挿入

7 録音レベルを設定する

❶ RECキーを押して録音一時停止状態にする

❷ MODEキーを押し､メニューから|◀◀または▶▶|キーで"REC LEVEL"を選びENTERキーを押す

❸ |◀◀または▶▶| キーを押して録音レベルを調整し、ENTERキーを押す

- レベルは-8〜+6の範囲で調整できます。実際の録音レベルはメーター部で確認することができます。
- 録音一時停止中または録音中のみ録音レベルを調整することができます。

INPUT SELECTORがD-INの場合は、入力されたデジタルデータがそのまま録音されます。

録音時のトラック番号について

CD、外部入力からの録音のとき、音のない部分が3秒以上続いた後に次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。(ただし、録音する音楽ソースのノイズなどによりトラック番号がくり上がらない場合があります。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が繰り上がる場合があります。TUNER録音中はトラック番号は自動的に5分毎または10分毎(AUTO MARK機能)に繰り上がります。付いてしまったトラック番号は後で編集することができます。
もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にMD EDITキーを押すとその位置にトラック番号を付けることができます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

リモコンのみ

録音中に押す
(O.T.E. 機能使用時は除く)

MD EDIT

- CDからのデジタル録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラックは **"1曲ずつ消す(ERASE)または全曲消す(ALL ERASE)"** を参照して削除してください。 →57

MDのステレオ長時間録音と再生について

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています。(MDLP対応機器)
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があります。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について(LP2、LP4)

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4モードはLP2モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音(STEREO)で録音してください。

録音モードの種類

ステレオ録音(STEREO):
録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ2倍長時間録音(LP2):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

ステレオ4倍長時間録音(LP4):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。

モノラル長時間録音(MONO):
録音される音声はモノラルになります。録音可能時間はMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ(STAMP)機能

本機でステレオ2倍長時間録音(**LP2**)またはステレオ4倍長時間録音(**LP4**)で録音された曲のタイトルの始めの部分に"**LP:**"を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に"**LP:**"が表示されます。"**LP:**"は、MDLPに対応していない機器でステレオ2倍長時間録音(**LP2**)またはステレオ4倍長時間録音(**LP4**)された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。本機では、スタンプ(STAMP)機能のオン("**LP:**"をつける)またはオフ("**LP:**"をつけない)の設定をすることができます。

- スタンプ(STAMP)機能で自動的に付く **"LP:"** も文字数に含まれます。
- MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。

LP2、LP4モードで録音したMDをLP2、LP4モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。ステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"**曲をつなぐ(COMBINE)**" →59

曲順を並べ替えて聞く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番にプログラムして聞くことができます。（最大32曲）

入力切換を "CD" または "MD" にする。

1 "PGM（プログラム）" モードを選ぶ

2 聞きたい順に曲を選ぶ

（20秒以内に手順❷へ）

ENTER

（2曲以上選ぶときは手順❶、❷を繰り返す）

数字キーを押す順序は
- 12曲目なら .... +10、2
- 40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
- 102曲目なら .... +100 、2

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 32曲までプログラムできます。"PGM FULL（プログラム フル）" と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときはCLEAR（クリア）キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- CDのプログラム時間の合計が1000分以上、またMDのプログラム時間の合計が1000分以上になると時間表示が "－－－：－－" になります。

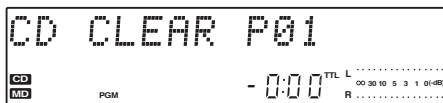
3 再生する

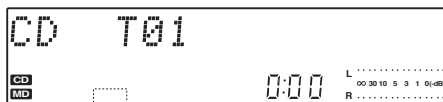
- プログラムで選んだ順（P-番号順）に再生します。
- 再生中に⏮キーを1回押すと、再生中の曲を最初から再生します。
  前の曲へ飛び越すときは、⏮キーを2回押します。
- 再生中に⏭キーを1回押すと次の曲へ飛び越して再生します。

応用編

曲を追加するには

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2
40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
102曲目なら .... +100、2

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 最大32曲までプログラムできます。"**PGM FULL**"と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときは**CLEAR**キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号はプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

P-01が取り消されたとき

- 押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

消灯

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにしたり、プログラムしたディスクを取り出すとプログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容は解除されます。

繰り返し聞く（リピート再生）

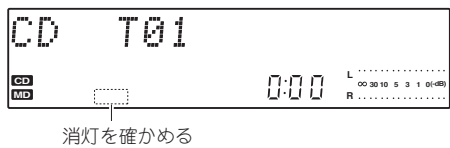
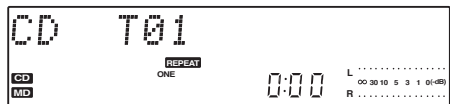
お気に入りの曲やディスクを繰り返し聞くことができます。

入力切換を"CD"または"MD"にする。

1曲を繰り返し聞くとき

❶ "PGM"表示の消灯を確かめる

❷ 繰り返したい曲を再生する

CD ►/❚❚　または　MD ►/❚❚

❸ "REPEAT"と"ONE"を点灯させる

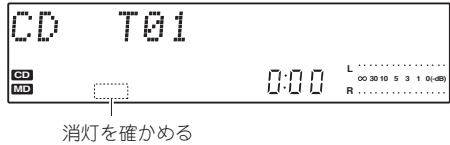
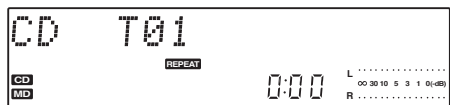
REPEAT

● "PGM"表示が点灯しているときは、停止中にP.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

REPEATキーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "REPEAT"と"ONE"が点灯(1曲リピート)
② "REPEAT"が点灯(全曲リピート)
③ 消灯……. リピート解除

全曲を繰り返し聞くとき

❶ "PGM"表示の消灯を確かめる

❷ "REPEAT"を点灯させる

REPEAT

❸ 再生する

CD ►/❚❚　または　MD ►/❚❚

● "PGM"表示が点灯しているときは、停止中にP.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

REPEATキーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "REPEAT"と"ONE"が点灯(1曲リピート)
② "REPEAT"が点灯 (全曲リピート)
③ 消灯……. リピート解除

応用編

選んだ曲だけを繰り返し聞くとき

❶ "曲順を並べ替えて聞く（プログラム再生）"の手順 ❶と❷を行い、聞きたい曲をプログラムする

→ 45

❷ "REPEAT" を点灯させる

REPEAT

❸ 再生する

または

REPEAT（リピート）キーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "REPEAT" が点灯(全曲リピート)

② 消灯 .... リピート解除

● 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEAT（リピート）キーをリピートモードが解除になるまで押します。

● "REPEAT（リピート）" 表示が消灯し、CDプレーヤーまたはMDレコーダーのモードにしたがった再生に戻ります。

曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

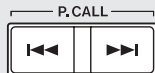
入力切換を "CD" または "MD" にする。

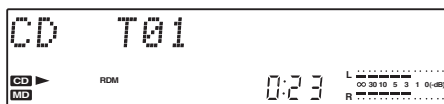
❶ "PGM（プログラム）" 表示の消灯を確かめる

● "PGM（プログラム）" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード）キーを押して消灯させてください。

❷ RANDOM（ランダム） キーを押す

RANDOM

RANDOM（ランダム）キーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "RDM（ランダム）" 点灯（ランダム再生する）

② "RDM（ランダム）" 消灯（通常の再生）

● 全曲の再生が1回終わると停止します。

● REPEAT（リピート） キーを押すとランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

● ◄◄ キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

"RDM（ランダム）" 表示を消灯させる

RANDOM

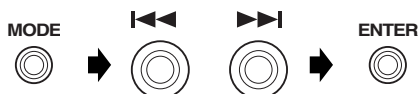
● "RDM（ランダム）" 表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

O.T.E.機能を使ってCDの4倍速録音をする

CDの全曲をMDに4倍速録音できます。(4倍速全曲録音)
CDを聞いているとき、今聞いている曲だけをワンタッチで最初から録音できます。(4倍速1曲録音)

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力切換を "CD" にする
❷ "RDM" 表示の消灯を確かめる
❸ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
❹ CDプレーヤーにディスクを入れる

● "RDM" 表示が点灯しているときは、RANDOM キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

" 録音モードを設定する " を行う →41

3 録音スピードを選ぶ

❶ MODE キーを押し、メニューから ⏮ または ⏭ キーで "O.T.E. SPEED" を選び、ENTER キーを押す

MODE ⏮ ⏭ ENTER

❷ "HIGH" を選び、ENTER キーを押す

⏮ ⏭ ENTER

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"NORMAL"：	MDを通常速度で録音するときに選びます（初期設定）
"HIGH"：	MDを4倍速で録音するときに選びます

● "HIGH" を選ぶと、"HIGH" 表示が点灯します。
● "HIGH" を選ぶと "ANALOG" が選ばれていても "DIGITAL" に切り換わります。
● リモコンの REC SPEED キーを押すと ❶、❷ の操作が一度に行えます。

4 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	1曲録音するとき
再生中のときは停止させる ■ TUNING MODE	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順5を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。 (他の曲を録音するときは、手順4と5を繰り返します)

次ページに続く

5 録音を始める

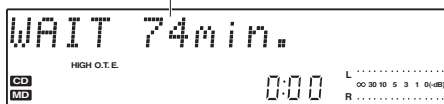
❶ MODE(モード) キーを押してメニューモードにする。

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "O.T.E. START"(ワンタッチエディットスタート) を選び、ENTER(エンター) キーを押す。

リモコンで操作するときは、O.T.E.(ワンタッチエディット) キーを押す。

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。(異常なディスクは使用しない→87) この場合は、通常の速度で録音しなおしてください。

- 再生側や録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 4倍速録音中は音は出ません。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING(ライティング)" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると.....

MD レコーダー　： 停止し、"MD WRITING(ライティング)" が表示されます。

- いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じトラックを4倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74分以内に同じCDまたは同じトラックを録音する場合は録音スピードを "NORMAL(ノーマル)"に設定し、**"O.T.E.(ワンタッチエディット)機能を使ってCDを録音する"** を行います。→40
- 74分以内に201曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

プログラム録音

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを MD に録音することができます。

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力切換を "CD" にする
❷ "RDM"(ランダム) 表示の消灯を確かめる
❸ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
❹ CD プレーヤーにディスクを入れる

- "RDM"(ランダム) 表示が点灯しているときはRANDOM(ランダム) キーを押し、ランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

" 録音モードを設定する " を行う →41

3 CD の曲順をプログラムする

CD の " 曲順を並べ替えて聞く(プログラム再生)" の手順 1 〜 2 を行う →45

- プログラムした内容を取り消すには、P.MODE(モード) キーを押します。 →46
- MDの録音時間を超えてプログラムされた曲は途中で途切れますのでご注意ください。
- 4倍速録音中は、曲番号によっては繰り返しプログラムして録音できないことがあります。
  同じ曲番号がプログラムされたときは、"SAME TNO"(セイムトラックナンバー) が表示されます。

4 録音スピードを選ぶ

"O.T.E. 機能を使って CD の 4 倍速録音をする " の手順 3 を行う →49

5 録音を始める

MODE(モード) キーを押し、メニューから ⏮ または ⏭ キーで "O.T.E. START"(ワンタッチエディット スタート) を選び ENTER(エンター) キーを押す

リモコンで操作するときは、O.T.E.(ワンタッチエディット) キーを押す。

- 再生側や、録音側のどちらかが停止するともう一方の動作も自動的に停止します。

応用編

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING(ライティング)" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると .....

MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING(ライティング)" が表示されます。

- いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じトラックを4倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74分以内に同じCDまたはトラックを録音する場合は録音スピードを **"NORMAL(ノーマル)"** に設定し、**"O.T.E. 機能を使ってCDを録音する "** を行います。→40
- 74分以内に201曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

MDの編集機能

市販の録音用MDを使うと録音後に各種の編集を行うことができます。

- 再生専用の一般市販ソフトのMDは編集できません。
- 編集をするときは、MDの誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。 →87

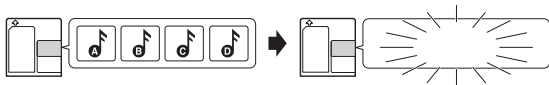
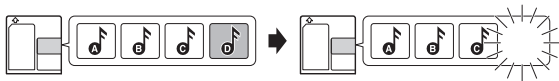
MD規格上の機能制限について

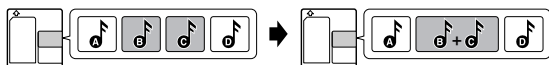
MDのいくつかの機能には規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 →91

曲順の入れ替え

1曲ずつ移動する（MOVE） →54

曲の消去

全曲消す（ALL ERASE） →57

1曲消す（ERASE） →57

曲の分割と結合

曲をつなぐ（COMBINE） →59

曲を分ける（DIVIDE） →60

ディスクや曲のタイトルをつける →62
タイトルを変更、消去する →64

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。入力したタイトルは機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にそのMDをセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す →65

"**MD WRITING**"が表示される前であれば、編集した内容を取り消すことができます。

1曲ずつ移動する（MOVE）

移動させたい曲を選んで目的のトラック番号の位置へ移動（挿入）します。前後の曲のトラック番号は自動的に調整されます。繰り返し行うことで目的の曲順に並べ変えることができます。

"PGM"表示が点灯しているときは停止中にP.MODEキーを押して消灯させてください。

停止中の曲を選んで移動する。

編集するMDを入れMD ▶/II キーを押して入力切換を"MD"にし、■(STOP)キーを押して停止させます。

応用編

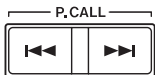
1 EDIT TRACKモードを選ぶ

❶ MD EDITキーを押し、EDITモードにする。

MD EDIT

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して"EDIT TRACK"を選ぶ

P.CALL

❸ 確定する

ENTER

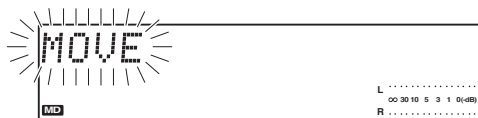
|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

2 "MOVE"を選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して"MOVE"を選ぶ

P.CALL

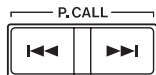
❷ 確定する

ENTER

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"MOVE"
"ERASE"

● 途中でやめるにはMD EDITキーを押します。

3 移動したい曲を選ぶ

❶ ⏮または⏭キーを押して移動したい曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

ENTER

"004" と "005" の間に移動する場合

4 移動先を選ぶ

❶ ⏮または⏭キーを押し、曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

ENTER

曲順を 1 曲移動するイメージ

5 曲の移動を実行する

ENTER

実行後の表示

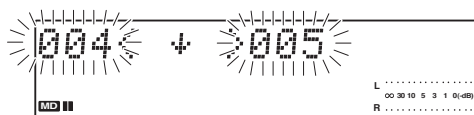
"EDIT NOW"（エディット ナウ） → "COMPLETE"（コンプリート）（編集完了）
"EDIT NOW"（エディット ナウ） → "CAN' T EDIT"（キャント エディット）（編集不可能 →92**）**

情報を書き込み中

MD 排出中

6 MD を取り出す

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に " 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →65

"MD WRITING"（ライティング）表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"（ライティング）が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

再生中の曲を移動する。

編集する MD を入れ MD ▶/❚❚ キーを押して入力切換を "MD" にします。

1 "MOVE" を選ぶ

❶ MD EDIT キーを押し、"EDIT" モードにする。

MD EDIT

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "MOVE" を選ぶ
（再生中に押すと一時停止します）

P.CALL

❸ 確定する

ENTER

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"DIVIDE"
"COMBINE"
"ERASE"
"MOVE"

- 再生中に操作すると、一時停止状態になります。
- 途中でやめるには、手順 **2** の前に MD EDIT キーを押します。

2 移動先を選ぶ

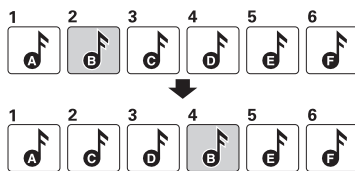
❶ ⏮または⏭ キーを押し、曲（トラック番号）を選ぶ

P.CALL

❷ 確定する

ENTER

"004" と "005" の間に移動する場合

曲順を 1 曲移動するイメージ

3 ENTER キーを押して曲の移動を実行する

4 MD を取り出す

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。
編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に " 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 → 65

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

1曲ずつ消す（ERASE）または全曲消す（ALL ERASE）

下記の手順で1曲ずつまたは全ての曲を一度に消すことができます。消した曲の後の曲番号は自動的に調節されます。

> "PGM"表示が点灯しているときは停止中にP.MODEキーを押して消灯させてください。

停止中に曲を消す。

編集するMDを入れMD ▶/II キーを押して入力切換を"MD"にし、■ (STOP) キーを押して停止させます。

1 EDIT TRACK モードを選ぶ

❶ MD EDIT キーを押す

再生中、一時停止中の操作手順は"再生中の曲を消す"をご覧ください。 →58

❷ |◀◀ または ▶▶| キー押し、"EDIT TRACK" を選ぶ

|◀◀ または ▶▶|キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

❸ 確定する

2 "ERASE" を選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "ERASE" を選ぶ

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"MOVE"
"ERASE"

❷ 確定する

- 途中でやめるには、次ページ手順 4 の前に MD EDIT キーを押します。

次ページに続く

3 消したい曲を選ぶ

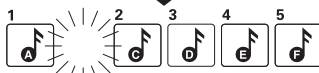
❶ ⏮ または ⏭ キー押して"ALL ERASE"または消したい曲を選ぶ

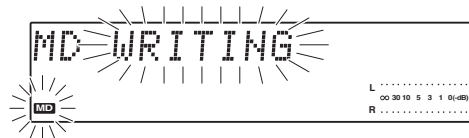
❷ 確定する

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"ALL ERASE"：全曲が消えます

"001"、"002"..... ：消したい曲を選びます

1曲消すイメージ

全曲消すイメージ

ブランクディスク

4 消去を実行する

ENTER

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）

"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →92）

● 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を消すときは、"001ERASE ok"（001は3で選んだ曲）と"PROTECTED ok"が交互に表示されます。よければ、もう一度ENTERキーを押します。

5 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →65

情報を書き込み中

MD排出中

"MD WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

再生中の曲を消す

以下の手順で消去したい曲の再生中に操作することもできます。

❶ MD EDITキーを押す。(再生中に操作すると一時停止状態になります。)

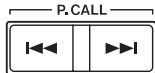
❷ ⏮ または ⏭ キー押して"ERASE"を選び、ENTERキーで確定する。

以降の操作は上記4 5と同じです。

曲をつなぐ（COMBINE）

2 つの曲をつないで 1 曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲はトラック番号が自動的に調節されます。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中に P.MODE キーを押して消灯させてください。

つなげる曲の録音モードが違うと、曲をつなぐことはできません。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 前になる曲を再生する

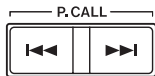
2 "COMBINE" を選ぶ

❶ MD EDIT キーを押し、⏮ または ⏭ キーで "COMBINE" を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ 確定する

3 後ろになる曲を選ぶ

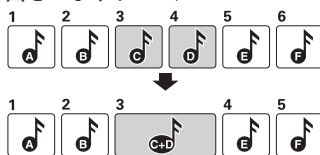
❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

4 曲と曲の結合を実行する

5 編集後、⏏ (MD取り出し)キーを押してMDを取り出す

- 手順 1 で選んだ曲の後ろに手順 3 で選んだ曲をつなげることができます。

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"DIVIDE"
"COMBINE"
"ERASE"
"MOVE"

- 途中でやめるには手順 4 の前に **MD EDIT** キーを押します。

前半部のトラック番号とタイトルが残る（後半部のトラック番号とタイトルは消える）

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 → 92）

- 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲をつなぐときは、**"003+004　ok"** と **"PROTECTEDok"** が交互に表示されます。よければ、もう一度 **ENTER** キーを押します。

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中に曲番号（トラック番号）を追加することにより曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。
分割した曲より後ろではトラック番号が自動的に調整されます。
プレビュー機能を使って分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中に P.MODE キーを押して消灯させてください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 分割したい曲を再生する

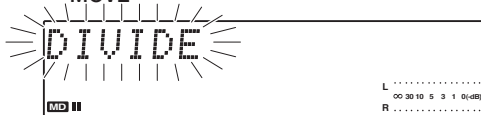
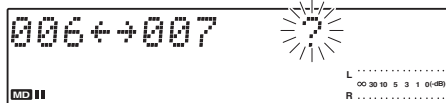
2 "DIVIDE" を選ぶ

❶ 曲を聴きながら分割したい位置でMD EDIT キーを押し、⏮ または ⏭ キーで "DIVIDE" を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ 確定する

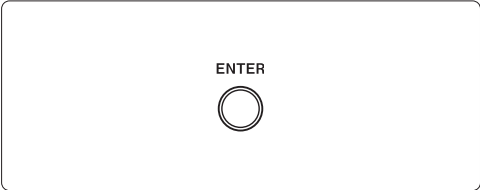
プレビューをしないときは、もう一度 ENTER キーを押して手順 4 の操作を行います。

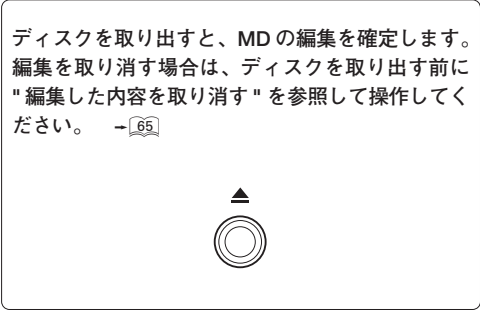
⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"DIVIDE"
"COMBINE"
"ERASE"
"MOVE"

分割できる新しいトラック番号　一時停止中のトラック番号

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 途中でやめるには、手順 4 の前に MD EDIT キーを押します。

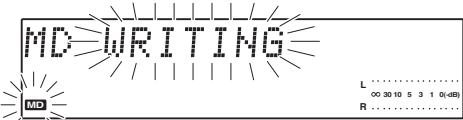
3 プレビューをするとき

❶ プレビューの実行

❷ 分割する位置の微調整をし、確定する

- 分割点から約２秒が繰り返し再生されます。

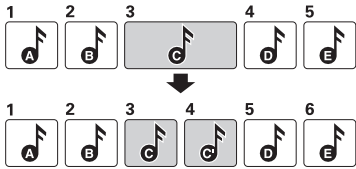
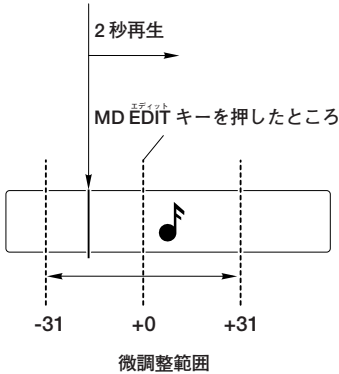
分割点からの再生経過時間（秒）　分割点が移動するステップ数

- 分割点は、MD EDIT キーを押したところを "0" として、60ms（6/100秒）単位で－31～＋31ステップ（約4秒の範囲）で調整可能です。

4 曲の分割を実行する

手順 1 ～ 4 を繰り返して、最大254までトラック番号を追加できます。

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →92）

- 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を分けるときは、"006← →007 ok" と "PROTECTEDok" が交互に表示されます。よければ、もう一度ENTERキーを押します。
- 分割で生まれた曲間には無音部分がありません。
- MD規格の制限により、曲を分けられない場合があります。

情報を書き込み中

MD排出中

MD EJECT

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

5 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →65

曲を分けるイメージ

プレビュー再生のイメージ

分割ポイントの微調整で選んだところ

ディスクや曲のタイトルをつける

ディスクや曲の名前（タイトル）をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中にP.MODE（モード）キーを押して消灯させてください。

入力切換を "MD" にする。

応用編

1 タイトル入力状態にする

❶ TITLE（タイトル） INPUT（インプット） キーを押す

● MDから情報を読み込むため、少し時間がかかります。
● 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE（タイトル） INPUT（インプット） キーを押します。

❷ 編集したいタイトル（ディスクタイトルまたは、トラックタイトル）を選ぶ

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"DISC（ディスク）" : ディスクタイトル *1
"001"、"002"..... : トラックタイトル *2

*1 停止中に手順 1-❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
*2 |◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに "001"、"002" ･･･とトラックタイトルが順番に表示されます。
再生中に手順 1-❶を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

❸ 確定する

メモ MDの録音モード（"LP2" または "LP4"）の設定でスタンプ機能を使用している場合、曲のタイトルの頭の部分に "LP: " が表示されます。 →44

ディスクタイトルのとき ：
"DISC（ディスク）" を選びます。

トラックタイトルのとき ：
目的のトラックNo.を選びます。
（数字キーでも選べます。）

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。（英、数、記号の場合）
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR（クリアー））をご利用ください。
→64

2 タイトルを入力する

"Aa"、"1 2"、" アァ " のいずれも表示されていないときは、いずれかの文字入力キーを押してください。

❶ DISPLAY/CHARAC.（ディスプレイ/キャラクター）キーを繰り返し押して文字グループを選ぶ

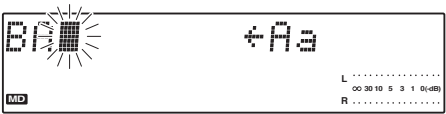
DISPLAY
/CHARAC.

❷ 文字入力キーを押して文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。

（例：A a選択時に（カ/ABC）② を押すと A→B→C→a→b→c のように替わります。）

❸ ENTER（エンター）キーを押して文字を確定する

ENTER

（❶～❸ を繰り返し、文字を入力します。）

文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ：
　A～z、記号

"1 2" グループ：
　0～9と記号

" アァ " グループ：
　アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・と記号

- ◀◀ または ▶▶ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- 間違えたときは、CLEAR（クリアー）キーを押して消去します。

カーソルが移動、次の文字入力待ち

タイトル編集文字一覧表

キー ＼ グループ	"Aa"	"1 2"	"アァ"
1ア	（スペース）	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
2カABC	A B C a b c	2	カ キ ク ケ コ
3サDEF	D E F d e f	3	サ シ ス セ ソ
4タGHI	G H I g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マ ミ ム メ モ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
0ワヲン		0	゛ ゜ ワ ヲ ン
+10	' , : ? ! ; . " _ ` $ （スペース）		
+100 &()–	& ( ) - / + * = < > # % @		

- ゛、゜はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
- 文字入力キーを1回押したとき、最初に表示されるアルファベットは、そのときの状態によって大文字と小文字が入れ替わります。

応用編

次ページに続く

3 タイトル入力を実行する

❶ ENTER(エンター)キーを押してタイトル入力を確定する

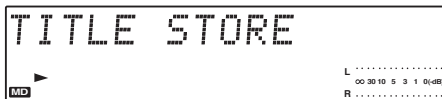
ENTER

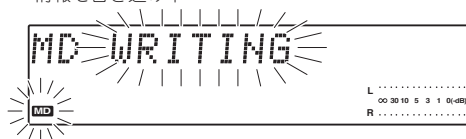
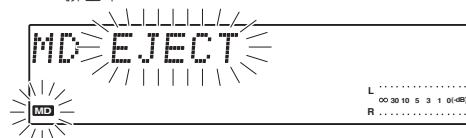
❷ TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押して編集を終了する

TITLE INPUT

❸ MD⏏ キーを押してMDを取り出す

ディスクを取り出すとMDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →65

- ENTER(エンター)キーを押すと、次に編集するタイトル(ディスク名または曲名)を選択することができます。続けてタイトル編集をするときは、手順 1-❷ から繰り返してください。

- タイトルを確定する前に電源をオフ(スタンバイ)にしたり、TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。

情報を書き込み中

MD排出中

"MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルを変更、消去する

❶ "ディスクや曲のタイトルをつける"の手順 1 を行い、変更または消去したいディスクタイトルまたは、トラックタイトルを選ぶ

❷ ◀◀ または ▶▶ キーを押してカーソルを変更または消去したい文字にあわせる

- 文字を挿入したいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

❸ CLEAR(クリアー)キーを押して文字を消去する(消去のときは手順 ❺ へ)

❹ 変更したいときは、"ディスクや曲のタイトルをつける"の手順 2 を行う

❺ "ディスクや曲のタイトルをつける"の手順 3 を行う

編集した内容を取り消す

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。
編集を取り消すときは、必ずディスクを取り出す前に行ってください。
万一、編集後に MD を取り出したり、他の録音をしたりすると取り消すことができなくなります。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中に P.MODE キーを押して消灯させてください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT CANCEL" を選ぶ

❶ MD EDIT キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キー押して "EDIT CANCEL" を選ぶ

❸ 確定する

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

- 編集後に MD を取り出した場合などは、"EDIT CANCELx" と表示され操作できません。
- 途中でやめるには、手順 2 の前に MD EDIT キーを押します。

2 編集の取り消しを実行する

"CANCEL ok?" と表示されるので、よければ ENTER キーを押して確定する

グループ機能

ステレオ長時間録音モード(LP2またはLP4)を使って、複数のCDを1枚のMDに録音できるようになりました。しかし、1枚のMDに収録される曲数が多くなると曲の管理も大変になります。
そこで、MDに収録されている曲を各グループごとにタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりしグループに分けて管理します。収録曲が多くても簡単に操作することができます。
グループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。本機でグループ登録したMDは他のMDのグループ機能対応機器でも再生・編集ができますが、一部の機種ではグループ名などが正しく表示されなかったり、編集できない場合があります。
MDに入力できる制限に近い文字数がタイトル入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。スタンプ機能で自動的につく"LP:"も文字数に含まれます。 →44

グループ登録する

応用編

先頭曲と最終曲を選んで連続している複数の曲をグループ登録することができます。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中に P.MODE キーを押して消灯させてください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

例：3曲目から12曲目までをグループ登録するとき

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDIT キーを押す

MD EDIT

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、"EDIT GROUP" を選ぶ

P.CALL |◀◀ ▶▶|

|◀◀ または ▶▶| キーを押すとたび、以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

❸ 確定する

ENTER

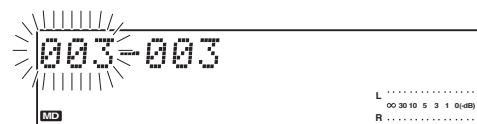
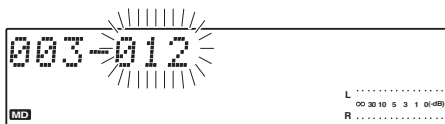
2 グループ登録する曲を選ぶ

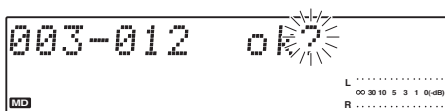
❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押し、
"GR START " を選ぶ

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"GR START"
"GR CANCEL"
"GR EDIT"

❷ 確定する

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの先頭曲（トラック番号）を選び、ENTER キーを押す

❹ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの最終曲（トラック番号）を選び、ENTER キーを押す

- 1曲だけでもグループ登録ができます。

3 グループ操作を実行する

- 実行中は "EDIT NOW" と表示され、終了すると "COMPLETE" と表示されます。実行できないときは "CAN'T EDIT" と表示されます。

応用編

次ページに続く

4 MDを取り出す

ディスクを取り出すとMDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →65

"MD WRITING"（ライティング）表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"（ライティング）が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、3曲目から12曲目までをグループAにし、12曲目から18曲目までをグループBにしたい場合、12曲目を二つのグループに登録できません。
- 連続していない曲をグループに登録することはできません。例えば1曲目と3～12曲目を一つのグループに登録できません。曲を移動して連続する曲番号にしてからグループ登録しなおしてください。
- 連続している曲でも、あいだにグループをはさんで登録することはできません。例えば、すでにグループAとして5～10曲目が登録されているときに、グループBとして3～12曲目を指定すると、グループ登録できません。グループAをグループ解除してから、もう一度グループ登録しなおしてください。
- グループ数は最大99個まで登録することができます。

グループ範囲を変更する

先頭曲と最終曲を再選択してグループ登録されている曲の範囲を変更します。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中に P.MODE(モード) キーを押して消灯させてください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT(エディット) GROUP(グループ)" モードにする

❶ MD EDIT(エディット) キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押し、"EDIT(エディット) GROUP(グループ)" を選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"EDIT(エディット) TRACK(トラック)"
"EDIT(エディット) GROUP(グループ)"
"EDIT(エディット) CANCEL(キャンセル)"

❸ 確定する

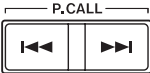
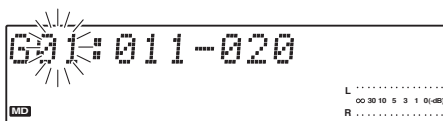
2 "GR EDIT(エディット)" を設定する

❶ ⏮ または ⏭ キーを押し、"GR EDIT(エディット)" を選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

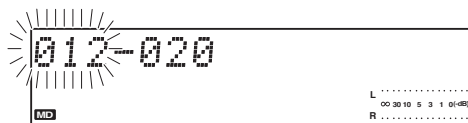
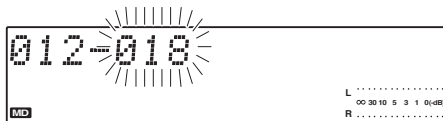
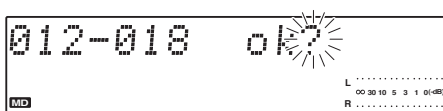
"GR START(スタート)"
"GR CANCEL(キャンセル)"
"GR EDIT(エディット)"

❷ 確定する

次ページに続く

3 新しくグループ登録する曲の範囲を選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して範囲を変更するグループを選び、ENTER キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押し、グループの先頭曲（トラック番号）を選び、ENTERキーを押す

グループの先頭曲（トラック番号）を入力

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押し、グループの最終曲（トラック番号）を選び、ENTERキーを押す

グループの最終曲（トラック番号）を入力

4 変更を実行する

● 実行中は "EDIT NOW" と表示され、終了すると "COMPLETE" と表示されます。実行できないときは "CAN'T EDIT" と表示されます。

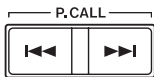
5 MD を取り出す

ディスクを取り出すと MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に " 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →65

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループを解除する

登録したグループを解除ことができます。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中にP.MODEキーを押して消灯させてください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDIT キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押し、"EDIT GROUP" を選ぶ

❸ 確定する

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

2 " GR CANCEL" を設定する

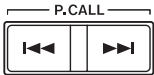
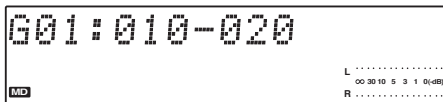
❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押し、"GR CANCEL" を選ぶ

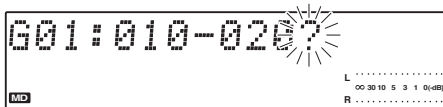
❷ 確定する

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"GR START"
"GR CANCEL"
"GR EDIT"

応用編

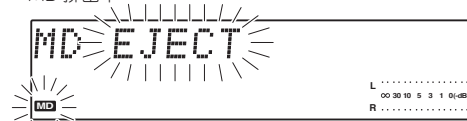
次ページに続く

3 "ALL GROUP" または解除するグループを選ぶ

❶ ⏮ または ⏭ キーを押し、"ALL GROUP"（すべてのグループを解除）または解除するグループを選ぶ

CANCEL ALL

❷ 確定する

4 グループ解除を実行する

- 実行中は "EDIT NOW" と表示され、終了すると "COMPLETE" と表示されます。実行できないときは "CAN'T EDIT" と表示されます。

5 MD を取り出す

ディスクを取り出すと MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に " 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 → 65

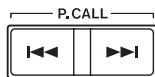
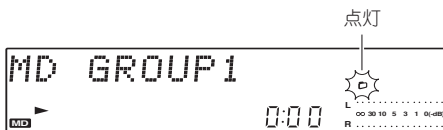
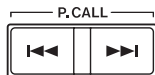
"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

聞きたいグループを選ぶ(グループサーチ機能)

聴きたいグループの先頭の曲に簡単に飛び越します。停止中にリモコンを使って操作します。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中に P.MODE キーを押して消灯させてください。

入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 リモコンの P.MODE キーを押してグループモードにする

2 GROUP SEARCH モードにする

3 聴きたいグループを選ぶ

- 選んだグループを再生するには MD ►/❚❚ キーを押します。
- グループ再生を止めるには ■ (STOP)キーを押します。
- グループサーチ機能を解除するには MODE キーを 2 回押します。

選んだグループの曲を繰り返し聞く(REPEAT)

選んだグループ内の全曲または 1 曲を繰り返し再生します。

REPEATキーを押すたび、以下のように切り換わります。

① "REPEAT" と "ONE" が点灯（1 曲リピート）：
1 曲だけを繰り返します

② "REPEAT" が点灯（全曲リピート）：
グループ内の全曲を繰り返します

③ 消灯：リピート再生をやめる

選んだグループの曲を順不同で聞く(RANDOM)

グループ内の曲を順不同で再生します。

❶ "聞きたいグループを選ぶ(グループサーチ機能)の 1 から 3 の操作で聞きたいグループを選ぶ →73

❷ リモコンのRANDOMキーを押す

RANDOM キーを押して "RDM" を点灯させる。

RDM 点灯

ランダム再生を解除するには

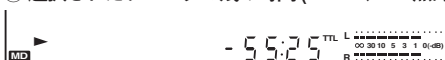
■ (STOP)キーを押して、RDMを消灯させます。

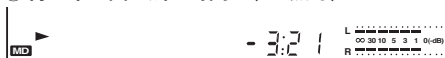
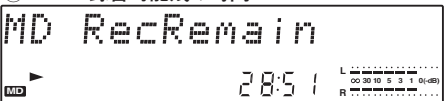
- グループ内の全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- REPEAT キーを押すとランダム再生が繰り返されます。

応用編

グループ再生中の時間表示について

リモコンのみ

- 1曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "−−−:−−" と表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

② 再生中の曲の残り時間 ("-" 点灯)

③ 選択されたグループの経過時間 ("TTL" 点灯)

④ 選択されたグループの残り時間 ("TTL"、"-" 点灯)

⑤ MD の録音可能残り時間

MD レコーダーのタイトル表示について

"MD レコーダーのタイトル表示について" を参照ください →31

- グループのタイトルが登録されていないときは、"GROUP ＊＊"（＊＊は番号を示します）が表示されます。

グループや曲のタイトルをつける

グループや曲のタイトルをつけると再生中にタイトルが表示されます。

"PGM" 表示が点灯しているときは停止中に P.MODE(モード) キーを押して消灯させてください。

入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 タイトルをつけるグループを選ぶ

❶ "聞きたいグループを選ぶ(グループサーチ機能)"の 1 から 3 の操作でタイトルをつけたいグループを選ぶ →73

- MD を読みとるまでに多少時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE(タイトル) INPUT(インプット) キーを押します。

2 タイトル入力にする

❶ TITLE(タイトル) INPUT(インプット)キーを押す

❷ 編集したいタイトル(グループタイトル、またはトラックタイトル)を選ぶ

❸ 確定する

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"GROUP(グループ)" : グループタイトル
"001"、"002"..... : トラックタイトル

グループタイトルのとき ：
"GROUP(グループ)" を選びます。

トラックタイトルのとき ：
目的のトラック No. を選びます。

3 タイトル入力にする

以降の手順は63ページの 2 以降を参照下さい

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR(クリアー)）をご利用ください。
→64

応用編

グループ録音の設定

CD の全曲をひとつのグループ録音に設定することができます。

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

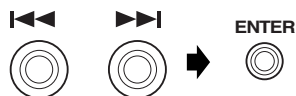
1 録音の準備をする

❶ 入力切換を "CD" にする

❷ "PGM" や "RDM" 表示の消灯を確かめる

❸ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる

❹ CD プレーヤーにディスクを入れる

- "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押して消灯させてください。
- "RDM" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。
- "HIGH" 表示が点灯している場合、MD は 4 倍速録音になります。

2 録音モードを設定する

長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

❶ MODE キーを押してメニューモードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "REC MODE" を選び、ENTER キーを押す。

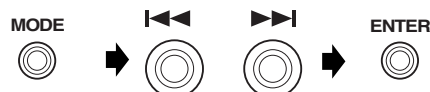
⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"STEREO"（ステレオ録音）: MDカートリッジに表示されている時間分録音できます

"LP2"（ステレオ2倍長時間録音）: MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分録音できます（"**LP 2**" 点灯）

"LP4"（ステレオ4倍長時間録音）: MDカートリッジに表示されている約4倍の時間分録音できます（"**LP 4**" 点灯）

"MONO"（モノラル録音）: MD カートリッジに表示されている2倍の時間分のモノラル録音ができます（"**MONO**" 点灯）

- **"STEREO"** または **"MONO"** を選んだときは❹に進みます。

❷ "LP : 2" または "LP : 4" を選び、ENTER キーを押す

❸ "LP : STAMP ON" または "LP : STAMP OFF" を選び、ENTER キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"LP : STAMP ON" : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る

"LP : STAMP OFF" : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

❹ MODE キーを押してメニューモードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "GROUP MAKE" を選び、ENTER キーを押す。

❺ "GROUP ON" を選び、ENTER キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"GROUP ON" : CD の全ての曲を録音するときグループに登録
"GROUP OFF" : グループ録音機能解除

❻ MODE キーを押し、メニューから ⏮ または ⏭ キーで "REC INPUT" を選び、ENTER キーを押す。

❼ 録音するモード "DIGITAL"、"ANALOG" または "DIGITAL EQ. REC" を選び、ENTER キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"DIGITAL" : CD からのデジタル録音入力
"ANALOG" : CD からのアナログ録音入力
"DIGITAL EQ. REC" : "デジタルサウンドイコライザー機能を使う" →24 〜 →25 で設定したサウンドで録音できます。デジタル信号のクリップを防ぐため多少音量が小さく録音されます。

3 CD 再生モードを確認する

再生中のときは停止させる

4 録音を始める

- 再生側か、録音側のどちらかが停止すると、自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

"MD WRITING" が表示されます。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

グループ登録したMDの曲を編集すると

グループに登録されている曲を編集すると次のようになります：

曲を移動する

グループ登録されている曲を移動すると移動先のグループに登録されます。移動先がグループに所属していないときは、移動した曲はグループに所属しない曲になります。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されていて、グループＢとして９〜12曲目が登録されているとき、グループＡの４曲目を11曲目に移動するとグループＢの曲になります。また、グループＡの４曲目を７曲目に移動するとグループに所属しない曲になります。

曲をつなげる

グループに登録されている曲をつなげると、つなげるときに前にある曲のグループに所属します。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されていて、グループＢとして６〜12曲目が登録されているとき、グループＡの５曲目とグループＢの６曲目をつなげると、つなげられた曲はグループＡに登録されます。また、グループＡの３曲目を２曲目とつなげると、つなげられた曲はグループに属さない曲になります。

曲を分ける

グループに登録されている曲を分けると、分けた曲も分ける前のグループに登録されます。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されているとき、５曲目を分けると分けてできた６曲目もグループＡに登録されます。

曲を消す

グループに登録されている曲を消した場合、グループ内の全曲を消すと、そのグループも消去されます。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されていて、グループＢとして６〜12曲目が登録されているとき、グループＡの３〜５曲目を消すとグループＡが消去され、このときグループＢにつけられたタイトルは変わりませんが、タイトルが登録されていない場合、表示される番号は自動的（-1）に調整されます。

- グループ機能の情報は、ディスクのタイトル情報として記録されています。グループ機能に対応していない機器でグループ登録されているMDのディスクタイトルを表示させると、通常のディスクタイトル以外の情報も表示されますが故障ではありません。
- グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDの編集操作はしないでください。
- グループ機能に対応した他のMD機器でグループ編集・登録されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。

タイマーを使う

おやすみタイマー（SLEEP）

設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音（PROG. 1、PROG. 2）

→ 80

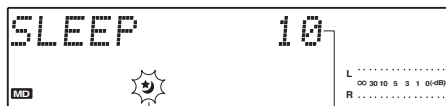
設定した時間帯に選んだソースを再生したり、ラジオまたは外部入力ソースを録音します。

AI タイマー再生（PROG. 1、PROG. 2）

→ 80

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP）

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 1 回押すごとに 10 分ずつ増えていきます。最大 90 分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

おやすみタイマー表示が点灯　セットする時間

- おやすみタイマーの動作中に **SLEEP** キーを押すと残り時間の確認ができます。

解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にするか、または SLEEP キーを解除になるまで繰り返し押す。

プログラムタイマーを設定する (PROG. TIMER)

PROG. 1とPROG. 2には動作する時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。 →18
"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →10 ～ →12

1 聞く（録音する）ための準備をする

CDを聞く	MDを聞く	録音する
ディスクを入れる（通常再生だけできます。）	MDを入れる（通常再生だけできます。）	録音の準備をする。→38
ラジオを聞く	**外部入力ソースを聞く**	
放送局をプリセットしておく。→32	外部入力端子に接続した機器のタイマー設定をする。	

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の動作する時間帯が重ならないように1分以上の間隔をあけて予約してください。

2 プログラムタイマーの番号を設定する

❶ MODEキーを押し、メニューから⏮または⏭キーで"TIMER SET"を選び、ENTERキーを押す

❷ "PROG.1 SET"または"PROG.2 SET"を選ぶ

❸ 確定する

⏮または⏭キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"PROG.1 SET"
"PROG.2 SET"

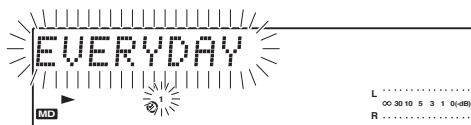
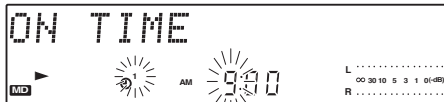
- 以前設定したプログラムタイマーの内容を表示します。（設定を変更しない場合は、ディスクの準備、音量の調節をしてからENTERキーを押してください。）
- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

3 プログラムタイマーのON/OFFを選ぶ

- OFFを選ぶと元の状態に戻ります。

4 タイマー実行曜日を選ぶ

◀◀ または ▶▶ キーを押すたび、以下のように切り換わります。

"EVERYDAY"（毎日）
"MONDAY"（月曜日）
"TUESDAY"（火曜日）
"WEDNESDAY"（水曜日）
"THURSDAY"（木曜日）
"FRIDAY"（金曜日）
"SATURDAY"（土曜日）
"SUNDAY"（日曜日）
"MON-FRI"（月曜日ー金曜日）
"TUE-SAT"（火曜日ー土曜日）
"SAT-SUN"（土曜日ー日曜日）

5 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

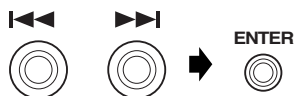
- オン時刻とオフ時刻ともに❶、❷の手順を行い、"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは、MODEキーを押して、手順2からやり直してください。
- ラジオ番組などをタイマー録音するとき、録音したい番組の放送開始時間にあわせて本機のタイマー開始時間を設定すると、番組の最初の部分が頭切れになります。頭切れしないように録音するには、録音開始時間を番組の放送開始時間よりも1分程度早く設定してください。録音開始の不要部分は、MDの編集機能を使って録音終了後に消去できます。

次ページに続く

6 希望の予約を設定する

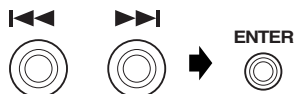
タイマー再生、AI タイマー再生をするとき

❶ モードを選ぶ
"PLAY" または "AI PLAY" を選び、ENTER キーを押す

"PLAY"（タイマー再生）
"REC"（タイマー録音）
"AI PLAY" (だんだん音が大きくなるタイマー再生)

❷ 音量を調整する
音量を調整し、ENTER キーを押す

- "PLAY" モード： 調整した音量で再生されます。
- "AI PLAY" モード：タイマーの再生が始まると調整した音量まで徐々に上がります。

❸ 入力ソースを選ぶ
聞くソースを選び、ENTER キーを押す

"PLAY TUNER"（ラジオ）
"PLAY CD"
"PLAY MD"
"PLAY PHONO"
"PLAY TAPE"
"PLAY AUX"
"PLAY D-IN"（外部デジタル入力）

タイマー録音をするとき

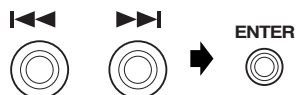
❶ モードを選ぶ
"REC" を選び、ENTER キーを押す

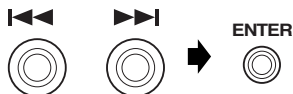
"PLAY"（タイマー再生）
"REC"（タイマー録音）
"AI PLAY" (だんだん音が大きくなるタイマー再生)

❷ 音量を調整する
音量を調整し、ENTER キーを押す

- 調整した音量で再生されます。

❸ 入力ソースを選ぶ
録音するソースを選び、ENTER キーを押す

"PLAY TUNER"（ラジオ）
"PLAY PHONO"
"PLAY TAPE"
"PLAY AUX"
"PLAY D-IN"（外部デジタル入力）

❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）
プリセットチャンネルを選び、ENTERキーを押す

❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）
プリセットチャンネルを選び、ENTER キーを押す

- ENTER キーを押して設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

❺ 録音モードを選ぶ
録音モードを選び、ENTER キーを押す

① "REC STEREO"
② "REC LP2"
③ "REC LP4"
④ "REC MONO"

❻ ENTER キーを押して設定を確定する

- ENTER キーを押して設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

予約内容を変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

7 電源をオフ（スタンバイ）にする

- スタンバイ状態になると STANDBY/TIMER 表示灯が緑色に点灯します。
- タイマー設定後、電源がオフ（タイマースタンバイ）中に停電があったり、電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、STANDBY/TIMER 表示灯が緑色に点滅します。このような場合は、もう一度時刻を合わせてから設定をやり直してください。
- ■ (STOP) キーを押すと設定内容を確認することができます。

タイマーの解除と再設定

一度設定したタイマーの解除と再設定を、リモコンを使って簡単に切り換えることができます。

電源がオンのとき、TIMER キーを押す

TIMER

押すたび、以下のように切り換わります。

- 1　PROG.1 のタイマーを動作させます。
- 2　PROG.2 のタイマーを動作させます。
- 1, 2　PROG.1 と PROG.2 のタイマーを動作させます。

タイマー解除（タイマー表示消灯）
設定されているタイマーを解除します。

- タイマーの設定内容は解除しても残ります。
- 停電や電源プラグをコンセントから抜き差しすると、STANDBY/TIMER インジケーターが緑色の点滅になります。このような場合は、もう一度時刻を合わせてから設定をやり直してください。

表示部の明るさを設定する

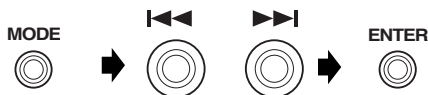
リモコンのDIMMERキーを押す

本体部のキーで操作するときは

❶ MODEキーを押し、メニューから⏮または⏭キーで"DIMMER SET"を選び、ENTERキーを押す

❷ 明るさを切り換える

● 本体部の⏮または⏭キーを押すたび"DIMMER 1" → "DIMMER 2" → "DIMMER 3" → "DIMMER OFF"の順に切り換わります。

❸ 確定する

リモコンのDIMMERキーを押すたび、以下のように切り換わります。

"DIMMER OFF"（通常の明るさ）
"DIMMER 1"　（表示部の輝度を下げる）
"DIMMER 2"　（表示部の輝度を下げる、キーイルミネーション消灯、サウンドインジケーター消灯）
"DIMMER 3"　（キーイルミネーション消灯）

レベルメーターのON/OFFを切り換える

1 LEVEL METERモードにする

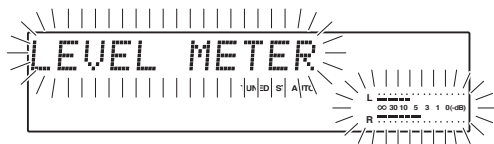
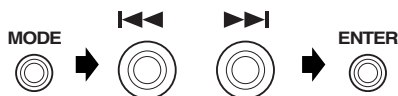
MODEキーを押し、メニューから ⏮ または ⏭ キーで "LEVEL METER" を選び、ENTERキーを押す

● 表示部およびメーター部が点滅します。

2 表示のON/OFFを切り換える

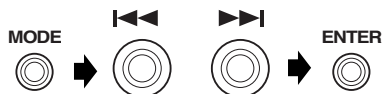
❶ ON/OFFを切り換える

❷ 確定する

ENTER

● ⏮ または ⏭ キーを押すたび、表示が切り換わり "ON" または "OFF" が点滅します。

オートパワーセーブ機能について (Auto Power Save = A.P.S.)

電源がオンで、CD、MDが停止状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。電源を切り忘れたときなどに便利です。この機能は次の操作でオン／オフを選べます。

❶ "A.P.S. SET" を選ぶ

（"A.P.S. SET" 表示が点滅中にENTERキーを押す）

❷ "A.P.S. ON" または "A.P.S. OFF" を選択する

❸ 確定する

ENTER

● 入力切換がTUNER、PHONO、TAPE、AUX、DIGITAL INのときは、音量がゼロまたはMUTEがオンのときに限りオートパワーセーブ機能が働きます。

知っておきましょう

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ CD、MD を取り出します

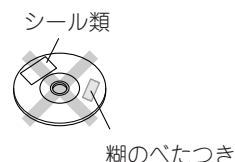
❷ MD ▶/❚❚ キーを押す

```
MD NO DISC
```

❸ CD ▶/❚❚ キーを押す

```
CD NO DISC
```

❹ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください

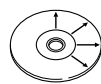
❺ 数秒間待って、電源をオフにします

ディスクの取り扱いかた

ディスク取り扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD (12cm、8cm)、CD-R、CD-RW およびCD-G/CD-EG (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CDディスクのご注意

レーベル面に COMPACT disc のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

クランピングエリア

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

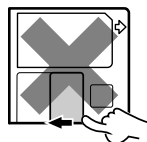
CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

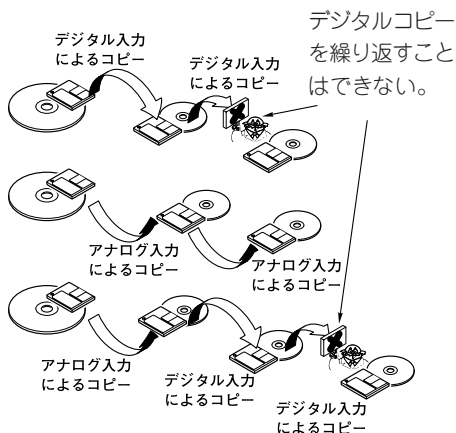
録音した内容を誤って消さないためには、ＭＤの誤消去防止つまみ（ＷＲＩＴＥ（ライト） PROTECT（プロテクト））を開いた状態にしておきます。

再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

Hi MDについて

本機では対応していないので使用しないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03)5353-0336(代表)
FAX. (03)5353-0337

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜いて約1日保持しているメモリーの内容

アンプ部	:	電源の状態、インプットセレクター、ボリューム値、サウンドプリセット、PHONO、TAPEおよびAUXのインプットレベル値、オートパワーセーブの設定、サウンドモード、ルームイコライザーの設定、D-Bassの設定、マニュアルイコライザーの設定、DIMMERの設定
チューナー部	:	受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO/MONOの設定、タイマーの設定内容
MDレコーダー部	:	録音モード、録音スピード、テキストコピー、グループメイク

故障かな？と思ったら ...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。
- CD、MD のディスクが入ったままリセットすると自動的に排出されます。ディスクを取り出してからCD トレイを閉じてください。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻ (POWER) キーを押しながら、差し込み直す。

マイコンをリセットすると下記のディスプレイが表示されます。

INITIALIZE

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →10 〜 →12 ● 音量を上げる。 ● **MUTE**をオフ（解除）にする。 →20 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"STANDBY/TIMER" の表示が赤く点滅し,音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続し直す。
"STANDBY/TIMER" の表示が緑色に点滅する。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →18
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →20 ● 音量を上げる。 →20 ● **MUTE**をオフ（解除）にする。 →20
スピーカーの片側から音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →10 〜 →12 ● 左右のバランスを調整する。 →20
入力切り換えキーを PHONO にするとブーンという音が出る。	● オーディオコードを **PHONO** 端子にしっかりと差し込む。 →12 ● 信号用アース線を背面の ⏚ マークの端子に接続する。 →12
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →18
タイマーが作動しない。	● "**時刻合わせ**" をみて現在時刻を合わせる。 →18 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →80

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →11 →12 ● 放送バンドを合わせる。 →32 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →32
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALL（プリセットコール）キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →32 ● もう一度プリセットする。 →32

CD プレーヤー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● "**ディスク取り扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。→86 ● "**結露にご注意**" を参照し、露を蒸発させる。 →86
音声が出ない。	● **CD ►/❚❚** キーを押す。 ● "**ディスク取り扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。→86 ● MP3、WMA 等のデータが記録されたディスクは再生できません。
音とびがする。	● "**ディスク取り扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。→86 ● 振動のない場所に設置する。

MD レコーダー部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済 MD または再生用 MD を入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能な MD に取り換える。 →87 ● 入力切換を録音したいソースにする。 →38 ● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音ソースをアナログに変更する。 →41
録音レベルが低い。（外部入力端子使用時）	● 外部入力レベルを調整する。 →37
録音後音がひずむ。（外部入力端子使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。（外部入力使用時）外部入力レベルを調整する。 →37
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。

知識編

MD レコーダー部（MD 規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 255曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。 （トラック番号256未満でも録音できないことがあります。） このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"**0:00**" になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が 12 秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"**0:00**" になります。消去された曲の合計時間が 12 秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2
録音済みの時間と、録音可能時間の合計が MD 全体の記録時間（60 分、74 分、80 分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING" が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間 "**READING**" が表示されます。 ● ディスクの録音状態によっては、通常よりも長い間 "**READING**" が表示されます。
モノラル録音された MD のとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが 1792 文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。 ● スタンプ（STAMP）機能で自動的に付く "LP:" も文字数に含まれます。

*１録音モードが **STEREO** モードの場合（**LP2**/**MONO** モードの場合：24 秒　**LP4** モードの場合：48 秒）
*２**STEREO**（ステレオ録音モード）、**LP2**（ステレオ２倍長時間録音モード）、**LP4**（ステレオ４倍長時間録音モード）、**MONO**（モノラル録音モード）
*３録音モードが **STEREO** モードの場合（**LP2**/**MONO** モードの場合：4 秒 **LP4** モードの場合：8 秒）

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 ➡17 ● 操作範囲内で操作する。 ➡17

知識編

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていない MD です。
BUFFER OVER	● 74 分以内に 201 曲以上の CD を 4 倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモード、グループモードのときに編集しようとしている。
CAN'T SETUP	● **ROOM EQ** 用マイクが接続されていない。 またはヘッドホンが接続されている。 →21
CD NO DISC	● CD が入っていない。
CD RANDOM	● CD ランダムモードのときに **MD O.T.E.** 録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。 →48
CD TEXT FULL	● 1K バイト以上のテキスト情報がある **CD TEXT** のテキスト情報を表示しようとしている。
CHECK DISC	● CD で **TOC*** の内容が読み取れない。ファイナライズされていない CD-R を入れている。CD を確認する。 →86 →87
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256 曲目を録音しようとしている。録音可能な MD に入れ換える。一枚のディスクには 256 曲以上録音できません。
MD NO DISC	● MD が入っていない。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MD タイトルが書かれている。
PGM FULL	● CD または MD のプログラムで 33 曲目を選択しようとしている。 →45
PLAY ONLY	● 再生専用の MD に録音しようとしている。録音用の MD を入れる。
PROTECTED	● MD が " 録音禁止 " されている。" 録音可能 " にする。 →87

知識編

ディスプレイ表示	意　味
R.EQ ERROR1	● 測定しようとしている部屋のノイズが大きいため測定できません。 →21
R.EQ ERROR2	● マイクに信号の入力がないため測定できません。 →21
READING	● TOC* 情報を読み込んでいる。
SAME TNO	● 同じ曲を２回以上プログラムして４倍速録音しようとしている。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。アナログ録音を選んでください。→41 →88
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 MD 全体で 1792 文字、1 曲につき最大 80 文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1 文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1 文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
TRAY OPEN	● CD トレイが開いている。
UTOC ERROR	● UTOC* の内容が異常である。**"ALL ERASE"** を行う。→57 それができないときは、MD を取り換える。
WAIT 74min.	● CD から MD に 4 倍速録音をしたのちに同じ曲を 4 倍速録音しようとしている。再録音できるまでの時間が表示される。
・・・・・・・・・	● MD タイトルが書かれていない。
○○○○○ x	● "○○○○○"の操作はできません。

* すべての MD には音声信号以外に **TOC**（**Table of Contents**）という情報が記録されています。**TOC** とは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用 MD に特有な情報を **UTOC** と呼びます。この **UTOC** には、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

知識編

定　格

[オーディオ部]

実用最大出力....................... 30W+30W（JEITA 6 Ω）

全高調波ひずみ率

.... 0.007%（AUX IN, 1kHz, 11W, 6 Ω）

トーンコントロール特性

BASS（TURN OVER 100Hz） ...... ±3.1dB(at 100Hz)

（TURN OVER 150Hz） ...... ±5.1dB(at 100Hz)

（TURN OVER 200Hz） ...... ±5.7dB(at 100Hz)

TREBLE（TURN OVER　5kHz） .. ±5.7dB(at 10kHz)

（TURN OVER　7kHz） .. ±5.1dB(at 10kHz)

（TURN OVER 10kHz） .. ±3.1dB(at 10kHz)

グラフィックイコライザー特性

調整中心周波数 63Hz, 160Hz, 400Hz, 1kHz, 2.5kHz, 6.3kHz, 16kHz

可変範囲 .... ±8dB

D-Bass (+10) .... +16dB(40Hz, Vol. 60)

入力端子（感度／インピーダンス）

PHONO .... 5.5 mV / 31 kΩ

LINE (AUX, TAPE) .... 400 mV / 30 kΩ

出力端子（レベル／インピーダンス）

TAPE REC OUT .... 400 mV / 200 Ω

SUBWOOFER PREOUT .... 2V / 620 Ω

[デジタル部]

対応サンプリング周波数 ... 32kHz, 44.1kHz, 48kHz

[チューナー部]

FMチューナー部

受信周波数範囲 ....76 MHz〜90 MHz

アンテナインピーダンス .... 75 Ω不平衡

AMチューナー部

受信周波数範囲 .... 531 kHz〜1,629 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式.........................非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

D/Aコンバーター .... 1 bit

オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)

周波数特性 (JEITA)

.... 20 Hz〜20 kHz(TAPE REC OUT)

S/N比 (JEITA).......................97dB(TAPE REC OUT)

[MDレコーダー部]

読み取り方式.........................非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

記録方式 ....磁界変調オーバーライト方式

回転数 .... 400 rpm〜900 rpm(CLV)

音声圧縮方式.............................. ATRAC, ATRAC 3

D/Aコンバーター .... 1 Bit

オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)

A/Dコンバーター

.... ΔΣ方式 64fs オーバーサンプリング

サンプリング周波数 .... 44.1 kHz

レーザー情報

波長 ....765〜805 nm

レーザーパワークラス .... Class 3B

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 ....AC 100 V, 50 Hz/ 60 Hz

待機時消費電力.. 0.2W以下

定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 80 W

最大外形寸法 ....幅　270 mm

高さ　126 mm

奥行　368 mm

質量（重量） ....6.1 kg(正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

ご注意

1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別途添付)
製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間
当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

知識編

修理を依頼される時は
「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は
保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話(　　　　)　　　-

ケンウッド サービス網

2004年10月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・甲信越			
さいたまサービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-311-1加茂宮ビル1F	☎(048) 664-3611
千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
東京サービスセンター	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
横浜サービスセンター	〒226-0006	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
中部			
名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010
カスタマーサポートセンター	〒226-0006	横浜市緑区白山1-16-2 ☎ (045) 933-5133	FAX (045) 933-5553
	☎ (06) 6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます。）		

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

知識編

KENWOOD

株式会社ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

電話（045）933-5133　（06）6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます。）

FAX（045）933-5553

住所 〒226-0006　横浜市緑区白山 1-16-2

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、上記の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。